AURiQ

RTmetrics®概要資料

オーリック・システムズ・ジャパン株式会社

AURIQプロダクトの沿革

企業Webサイト普及 → ERP/CRMの普及 → Bigdataの注目 → Data Scienceの普及 → AIのビジネス活用

2019年 AURiQ

企業のビッグデータ活用をプラットフォーム提供とデータエンジニアリングの双方向で支援する事業を日米で展開

2016年 antuit

Bigdata分析専業のグローバルコンサルティングファームAntuitと合併

2014年 essentia

データレイクプラットフォームessentia提供開始

あらゆるデータを統合するデータレイククラウドサービスを提供、カスタマージャーニー分析を実現

2013年 RT METRICS BIQQ

BIQQ、Webログの顧客理解への活用・ダッシュボードの提供開始

基幹データとアクセスログの結合により、より高度な分析・深い顧客理解を支援

2002年 RTmetrics® RTbandwidth®

RTmetrics、RTbandwidth 提供開始

アクセス解析で個々のユーザのサイト内の行動を可視化

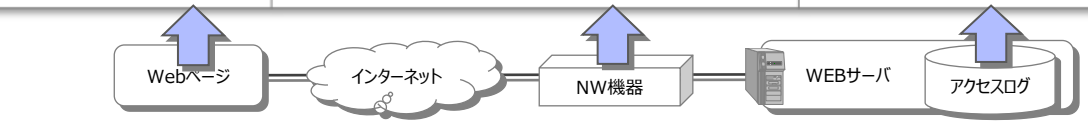
Strictly Confid

RTmetrics 概要

RTmetrics®

RTmetricsはアクセス解析の全データ収集方式に対応した世界唯一のWebアクセス解析ソフトウェアです。国内400社超の導入実績を誇ります。パブリッククラウド、仮想インフラ、オンプレミス、どのような構成でもご導入頂けます。

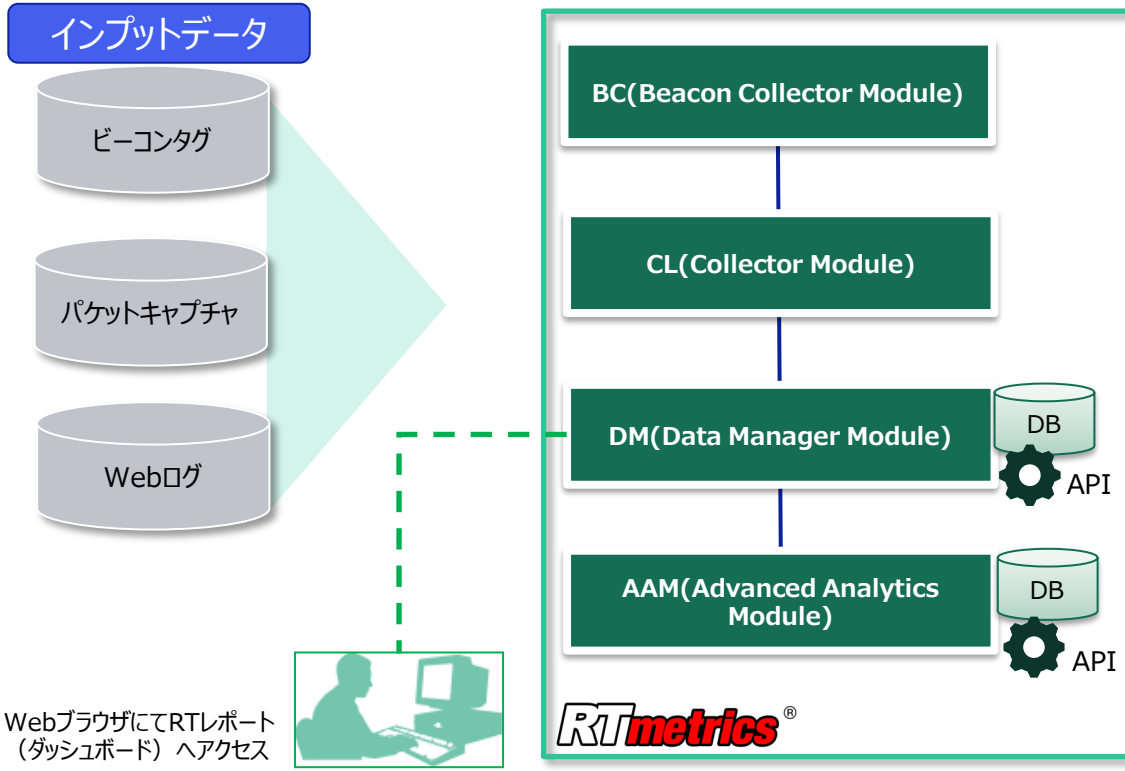
<table>
<tr><th>タグ（ビーコン）型</th><th>パケットキャプチャ型</th><th>Webサーバ型</th></tr>
<tr><td rowspan="2">• 小規模であれば始めやすい
• サーバリクエストがない動作（キャッシュ等）も捕捉可能</td><td colspan="2">HTMLソースを編集する必要がない／PDFやクローラーなどタグでは捕捉困難なデータ収集に向いている／設置後のメンテナンス性が高い（Webコンテンツの改変によるデータ収集の影響を受けづらい）</td></tr>
<tr><td>リアルタイム／大量データの処理に強い</td><td>過去データのさかのぼりが可能</td></tr>
<tr><td rowspan="2">• サイトが増えるとタグ管理負荷が重い
• SaaSサービスによる利用が前提→利用にデータの外部保存を伴う
• PDFダウンロードなど一部の動作の捕捉が困難
• 社内サイトのデータ収集の手段として適さない場合がある</td><td colspan="2">サーバリクエストのない動作は捕捉出来ない／オンプレミスとして提供</td></tr>
<tr><td>・NWの知識を要する
・クラウドを利用している際にはNW機器経由ではなくソフトウェア的な手法でアクセスデータを収集する仕組みが必要</td><td>• 生ログを元にデータ処理するため解析内容がログに含む情報量に限定される
• バッチ処理のためリアルタイム性にかける</td></tr>
</table>



RTmetricsはすべての方式に対応

AURiQ

RTmetrics モジュール構成



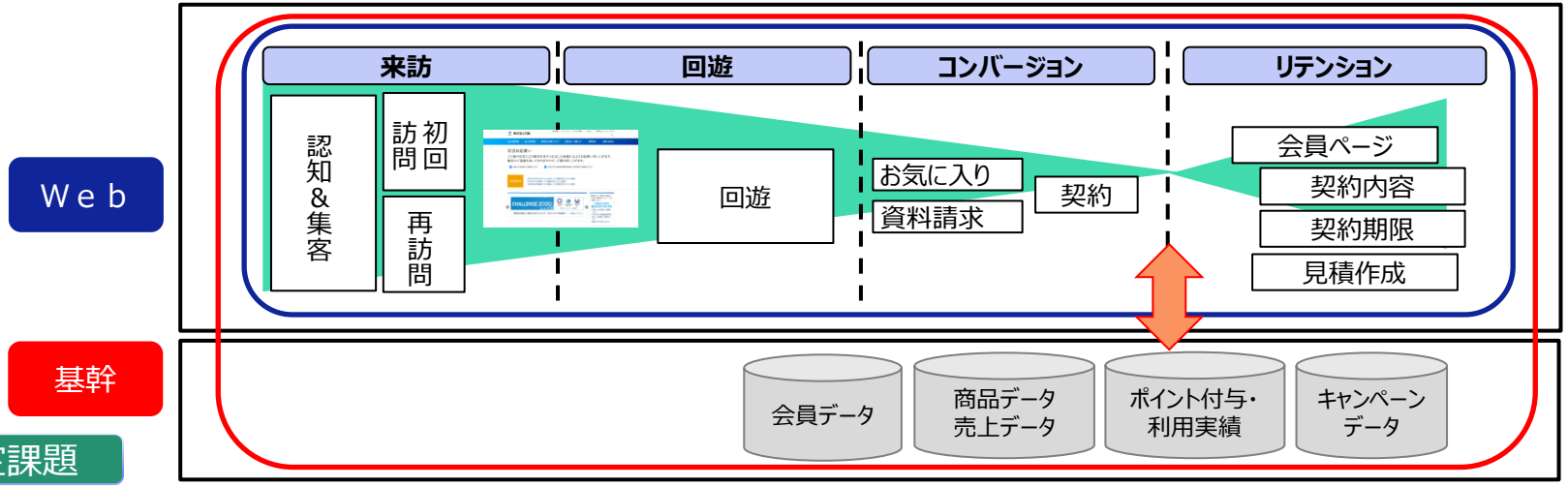
■Beacon Collector（ビーコンコレクタ）はビーコンを使ってデータ収集を行う際に利用頂くモジュールです。収集したビーコンデータはRTmetricsの設定に沿ってリアルタイムに加工し、Collector（コレクタ）に転送します。

■Collector（コレクタ）はミラーポートに接続しパケットを収集します。収集したデータを設定に沿って加工し、Data Manager（データマネージャー）にリアルタイムに転送します。BC経由、Packet Forwarding Agent（後述）経由のデータも、同様の処理を行います。

■Data Manager（データマネージャー）は受け取ったデータを設定に従って加工し、時間単位のサマリデータをDBに蓄積します。データサイズが小さく、必要とする情報を効率的に集計・分析する用途に適しています。データはリアルタイムに閲覧が可能です。

■Advanced analytic（アドバンスドアナリティック）はサイトの訪問者別の時系列の行動ログを生ログのまま蓄積します。あらゆる角度やセグメントを駆使した集計や行動ログにパケットから収集した情報を付加情報としてラベリングできるため、様々な外部システムとの連携用データの生成に適しています。

導入当初は「サイト軸」、その後「ユーザ軸」へデータ活用をシフト



想定課題

1. **サイト軸からユーザ軸へ**
   Webアクセス解析によるサイト単位の分析から、会員単位のコンテンツや機能の活用を目的にした顧客分析へ（カスタマージャーニーマップの可視化など）。

2. **Webアクセス解析単体利用からCRM/SFA等、営業支援領域への利用拡張　※必要に応じてシステム間でデータ連携**
   会員毎や店舗毎、社内向けサイトの場合は部門毎のWebサイトの利用実態の把握。会員のランクや種別毎に利用実態を把握し、最適なエンゲージメントや営業支援施策を検討し、各タッチポイントでその会員に合ったコミュニケーションを提供。

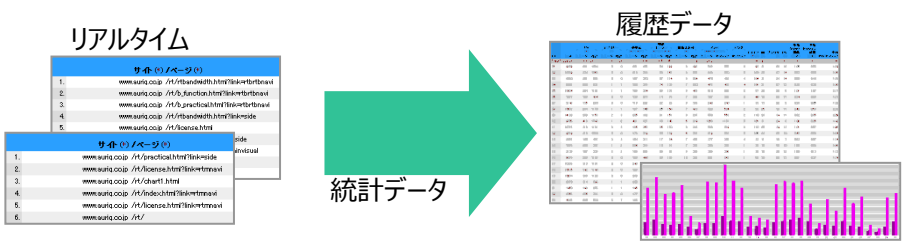
3. **Webアクセス解析から社内のあらゆるデータ（Online・Offline）を統合したデータドリブンマーケティングへ展開**
   店舗毎（Web・店舗）のクライアントのCLTVを把握（契約継続期間、解約・更新、ロイヤルカスタマーの把握（例：RFM分析））。店舗による契約者へのフォロー状況や会員向けサイトへの会員のアクセスなど、顧客に関連する情報を拡張することで、デジタルシフトを促進、会員登録・購買行動からリテンションまでのサポート状況を把握

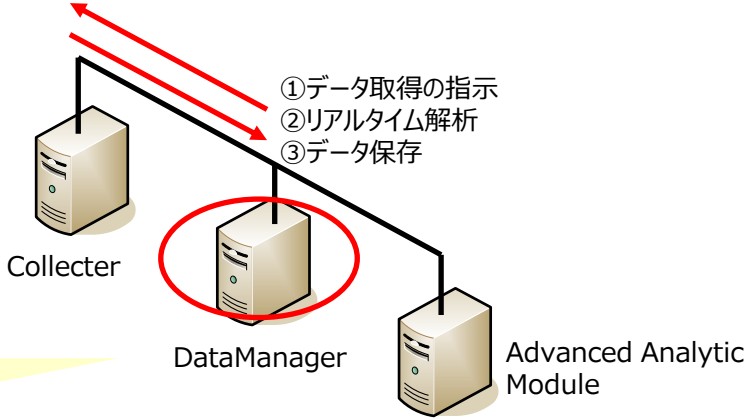
RTmetricsレポート概要

基本DB（DataManager Module）

基本DB（DataManager Module）とは

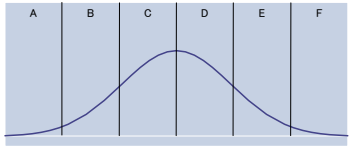
リアルタイムの全訪問者ごとのクリックストリームデータを1時間分保持します。本データは、毎時59分59秒に統計データとして集計され、時間帯毎の履歴データとして保存します。一般的なアクセスログ解析製品より、データ量が少なく、高速なレポーティングを実現しています。

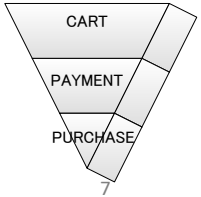


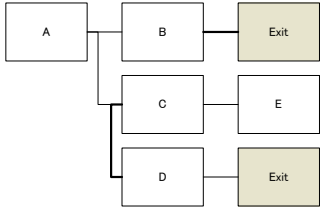


左図のようなリアルタイムで取得している訪問者一人一人の渡り歩きを、毎時59分59秒ごとに右図のようにサマライズされたデータとして保存するのがDataManagerです。

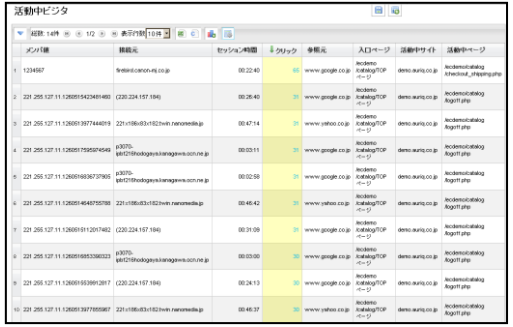
DMの解析の特徴はサイト全体の「傾向把握」になります。アクセスログ解析には欠かせない効果測定機能やユーザビリティの仮説検証を可能とするための機能として、ROI解析やパス解析をご利用頂けます。



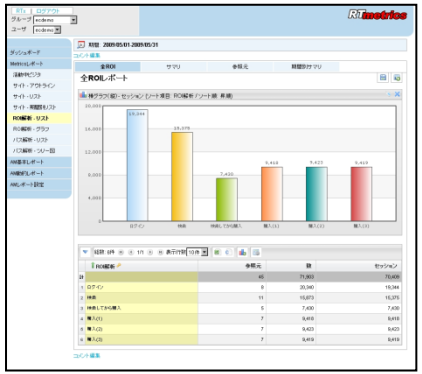




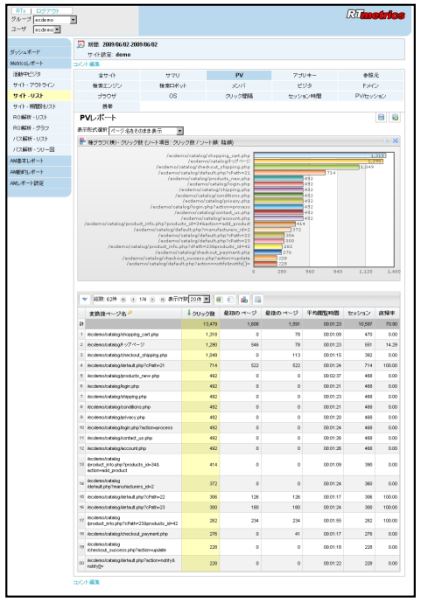
レポート一覧



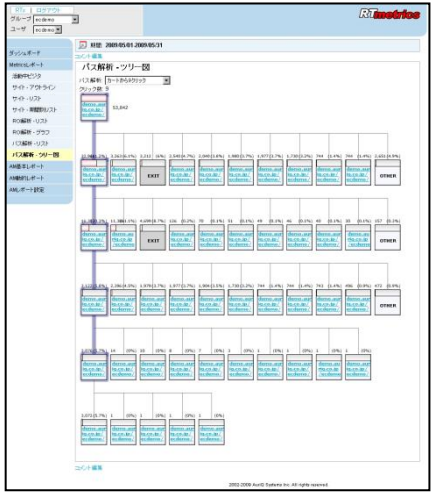
活動中ビジタ



ROI解析-リスト

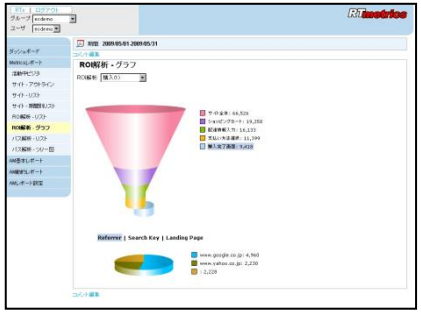


サイト-リスト

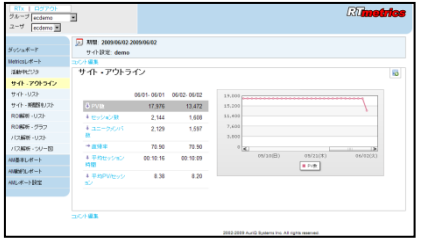


パス解析-ツリー図

ホットスポット



ROI解析-グラフ



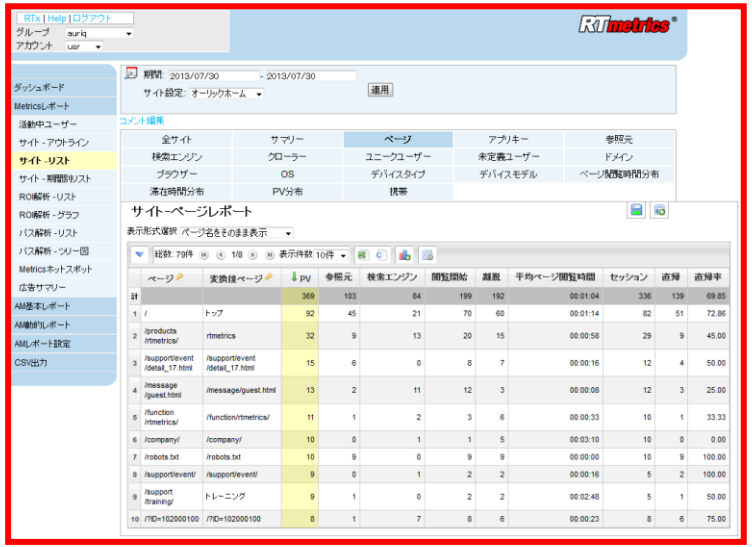
サイト-アウトライン

UIについて

RTmetricsには2種類のレポート画面が装備されています。利用ユーザーの目的に適した画面を利用して頂く事ができます。

レポート画面	Classic	RTシステムのデータ取得のための定義設定やユーザー登録等を行います。 RTが取得した全統計データを細かに表示する事が可能です。	システム管理者
	RUI	容易なグラフ作成やフィルタ操作等、ユーザビリティと分析機能を強化したグラフィカルユーザーインターフェースです。	Web運用者

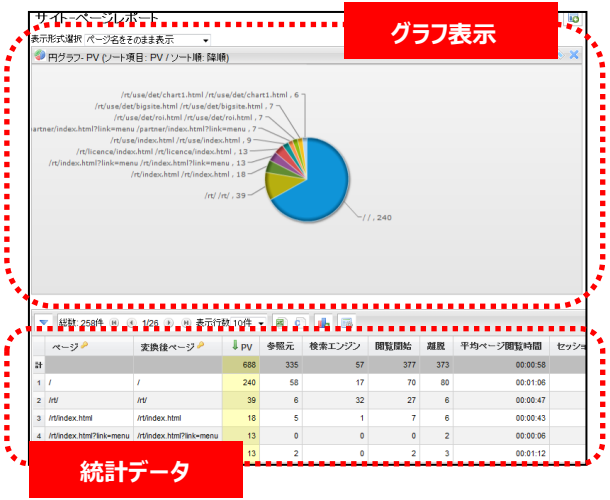
【Classic画面】



【RUI画面】

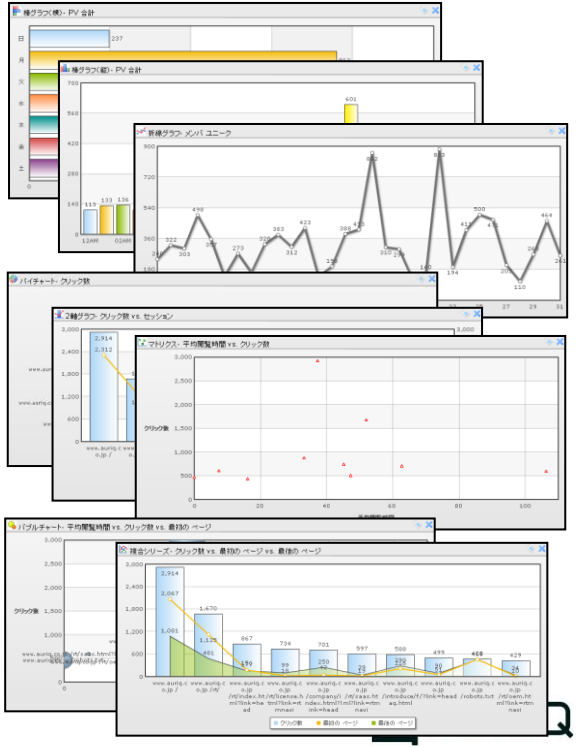
グラフ作成機能について

RUIでは、表示されている集計データを元に、閲覧者が自由にかつ容易にグラフを作成する事ができます。
グラフ化は、PVやセッション等全ての数値データに対応しており個々のデータに適したグラフタイプを任意に選択する事ができます。
グラフは、画面上の集計テーブルに表示されているデータを表示します。（※表示項目・フィルター・表示件数・ページ・ソート等の指定が影響します）



グラフタイプ

棒グラフ（横）	指定数値データを横軸にして棒グラフ化
棒グラフ（縦）	指定数値データを縦軸にして棒グラフ化
折線グラフ	指定数値データを縦軸にして折線グラフ化
円グラフ	指定数値データをパイチャート表示
2軸グラフ	指定数値データを左右の縦軸として棒グラフか折線グラフで表示
分布図	指定2項目を各々X軸Y軸とした分布図を表示
バブルチャート	指定3項目をX軸Y軸Z軸としてバブルチャートで表現。Z軸がバブル表示。
複合グラフ	指定3項目を棒・折線・面積のいずれかで表示

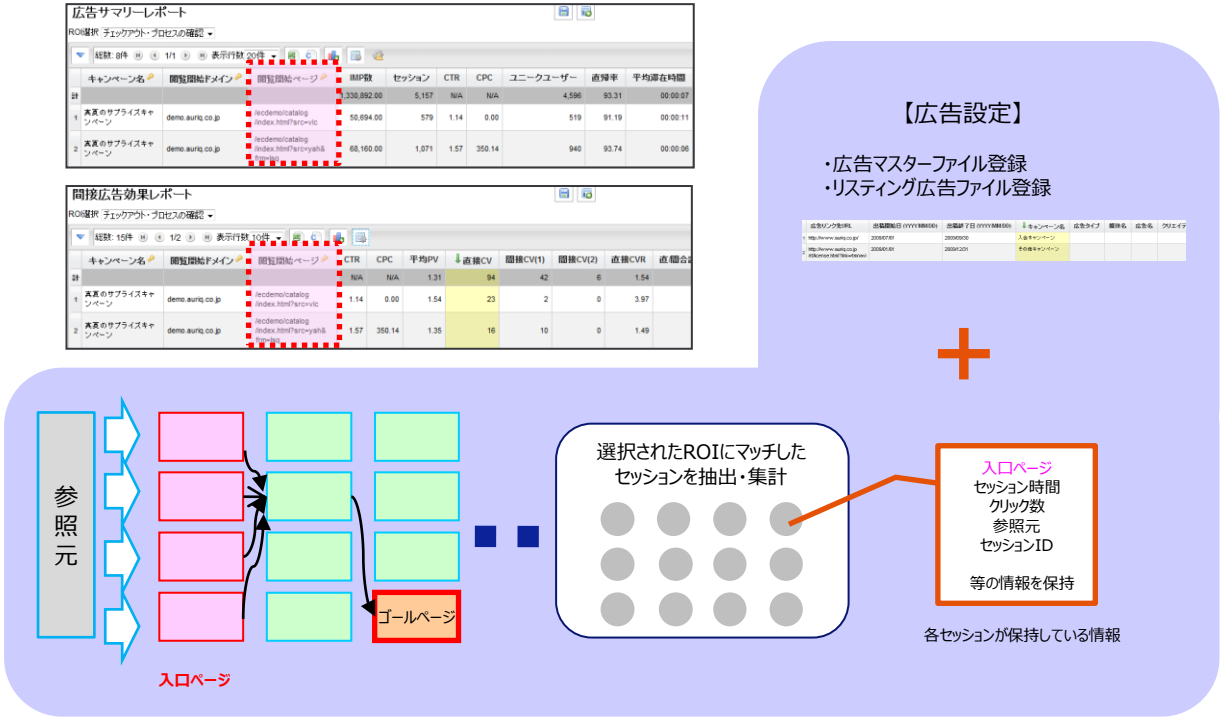


DataManager レポート一覧

レポート名	内容
活動中ビジタ	サイトにアクセスしている訪問者の行動を、リアルタイムにレポートします。
サイト-アウトライン	Webサイト解析上の重要な指標を一目で把握できるレポートです。
サイト-リスト	全サイト・サマリ・PV・アプリキー・参照元・検索エンジン・検索ロボット・メンバ・ビジタ・ドメイン・ブラウザ・OS・クリック間隔・セッション時間・PV/セッション・携帯の詳細情報を集計します。 （アプリキーとメンバの表示には、設定が必要です。）
サイト-期間別リスト	ヒット・PVユニーク・PV合計・アプリキーユニーク・アプリキー合計・参照元ユニーク・参照元合計・検索エンジンユニーク・検索エンジン合計・検索ロボットユニーク・検索ロボット合計・メンバユニーク・メンバセッション・ビジタセッション・ドメイン・ブラウザ・OS・平均クリック間隔・平均セッション時間・平均PV/セッションの詳細情報を、時間別・日別・曜日別に集計します。 （アプリキーとメンバの表示には、設定が必要です。）
ROI解析-リスト	設定した経路を通過したセッション情報の参照元と検索キーワード、入口ページや経路を通過した回数をレポートします。 全ROI/サマリ/参照元/期間別サマリの項目があります。 （効果測定やコンバージョンの分析に利用します。表示には、設定が必要です。）
ROI解析-グラフ	設定した経路を通過したセッション情報の参照元と検索キーワード、入口ページや経路を通過した回数をレポートします。 リストで表示しているのと同じデータをグラフで表します。 （効果測定やコンバージョンの分析に利用します。表示には、設定が必要です。）
パス解析-リスト	設定したページから次にどのページに遷移したのかトラッキング情報をレポートします。 9クリックまで、トラッキング可能です。また起点と終点、つまり順方向と逆方向で追うことができます。 全パス解析/サマリ/経路/期間別サマリの項目があります。 （経路分析やリンクによる誘導効果の分析に利用します。表示には、設定が必要です。）
パス解析-ツリー図	設定したページから次にどのページに遷移したのかトラッキング情報をレポートします。 9クリックまで、トラッキング可能です。また起点と終点、つまり順方向と逆方向で追うことができます。 リストで表示しているのと同じデータをツリー図で表します。 （経路分析やリンクによる誘導効果の分析に利用します。表示には、設定が必要です。）
Metricsホットスポット	設定したページから次にどのページに遷移したのかとラッキング情報をレポートします。 設定したページから順方向に1クリックの遷移を画面の各リンク上に円（●）で表現します（リンク上の●が大きいほど、多くクリックされています。）
広告サマリー	キャンペーン名・広告タイプ・媒体名・広告名・クリエイティブ・広告予備情報1・広告予備情報2・閲覧開始ドメイン・閲覧開始ページ・IMP数・流入回数・CTR・CPC・CV・CV率・広告コスト合計・広告コスト（期間）・広告コスト（クリック）・広告コスト（CV）・CPAの詳細情報を集計します。

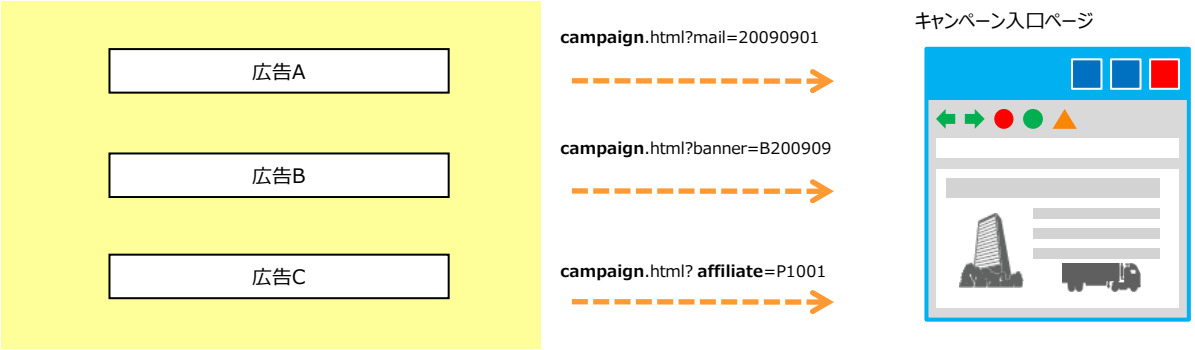
広告機能の概要

広告機能では、それぞれ自社で管理している広告出稿に関わる情報とRTの解析情報を組み合わせてレポーティングを行います。また、ROI解析と紐づける事により、キャンペーン毎のCVを含めた広告効果を集計しています。各セッションを広告流入と紐づける情報としては、入口ページを使用しています。



レポート表示のための設定

広告機能では、広告出稿に関する情報を入口ページ別に保持します。
そのため、異なる出稿先から同じページにリンクさせる場合でも、パラメータを使用してどの出稿先のリンクかを区別させる必要があります。



事前準備

・広告出稿URL決定
・出稿先識別のための
　パラメータ取得設定（RT）
・ROI解析設定（RUI-AM）

※AMのROI解析設定を行う
タイミングは任意です。

広告掲載

解析データ取得

広告効果検証

・広告情報アップロード（RUI）
・各種レポーティング

※広告情報アップロードは広告
サマリ・間接広告効果レポー
ト出力のために行います。

■入口別・流入別レポート
広告出稿時の入口からの流入集計
■ROI解析レポート
シナリオ別CV集計

■広告サマリー
出稿情報別集計
■間接広告効果レポート
間接CV集計

※広告情報（汎用広告・AdWords/Overtuer）はMetricsレポートの広告情報と共有します。

レポート：広告サマリー

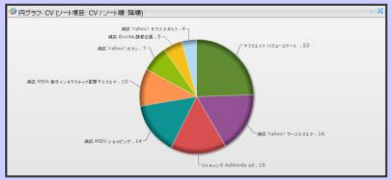
CV集計のためのROI解析設定を指定して広告サマリレポートを表示します。

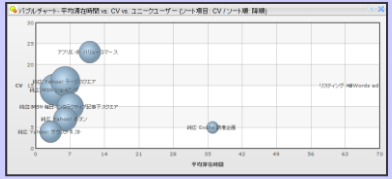
広告サマリーレポート

ROI選択 [グループ内共有]購入

総数: 8件 1/1 表示行数 20件

	広告タイプ	媒体名	広告名	IMP数	CPC	ユニークユーザー	直帰率	CV	CV率	CPA	再訪問率
計				1,330,892.00	N/A	4,596	93.31	94	1.82	N/A	11.56
1	アフリエイト	バリューコマース		50,694.00	0.00	519	91.19	23	3.97	0.00	10.36
2	純広	Yahoo!	ラージスクエア	68,160.00	350.14	940	93.74	16	1.49	23,437.50	12.23
3	リスティング	AdWords	ad	1,713.00	117.65	12	11.76	15	88.24	133.33	58.82
4	純広	MSN	ショッピング	196,541.00	371.08	1,070	95.00	14	1.19	31,250.00	10.01
5	純広	MSN	毎日インタラクティブ記事下スクエア	0.00	692.90	790	92.79	10	1.11	62,500.00	12.53
6	純広	Yahoo!	ボタン	347,713.00	369.28	596	93.35	7	1.03	35,714.29	11.96





広告タイプや媒体名等、広告情報として登録した文字情報は集計キーになっています。
予備情報なども活用すると様々な角度で広告流入の分析を行う事ができます。

広告サマリーレポート出力項目

出力可能項目	内容
キャンペーン名	広告情報のキャンペーン名
広告タイプ	広告情報の広告タイプ
媒体名	広告情報の媒体名
広告名	広告情報の広告名
クリエイティブ	広告情報のクリエイティブ
広告予備情報１	広告情報の予備情報１
広告予備情報２	広告情報の予備情報２
閲覧開始ドメイン	広告情報の入口ドメイン（流入のあった入口ドメイン）
閲覧開始ページ	広告情報の入口ページ（流入のあった入口ページ）
IMP数	広告情報の総IMP数÷広告期間日数×集計対象日数
セッション	該当広告から流入したセッション数 （※セッション開始のみ集計）
CTR(%)	セッション÷IMP数×100
CPC(円)	広告コスト合計÷セッション
ユニークユーザー	該当広告から流入したユニークユーザ数
直帰	該当広告から流入したセッションのうち直帰したセッション数
直帰率	セッションに対する直帰の割合
非直帰	該当広告から流入したセッションのうち直帰にならなかったセッション

出力可能項目	内容
平均滞在時間	該当広告から流入したセッションの平均セッション時間
平均PV	該当広告から流入したセッションのPV平均
CV	指定ROI設定のCV数
CV率(%)	CV÷セッション×100
広告コスト合計	広告コスト（期間）+広告コスト（クリック）＋広告コスト（CV）
広告コスト（期間）	出稿期間で配分した広告コストの期間集計 総コスト/出稿期間×レポート出力期間
広告コスト（クリック）	クリック単価から集計した広告コスト クリック単価×セッション
広告コスト(CV)	CV単価から集計した広告コスト CV単価×CV数
CPA(円)	広告コスト合計÷CV
CV価値	CV集計の設定がされていればCV価値とCVの積算
ROAS	CV価値÷広告コスト合計×100
新規訪問セッション	該当広告から流入した初訪セッション数
新規訪問率	セッションに対する初訪の割合
再訪問セッション	該当広告から流入した再訪セッション数
再訪問率	セッションに対する再訪の割合

RTmetricsレポート概要

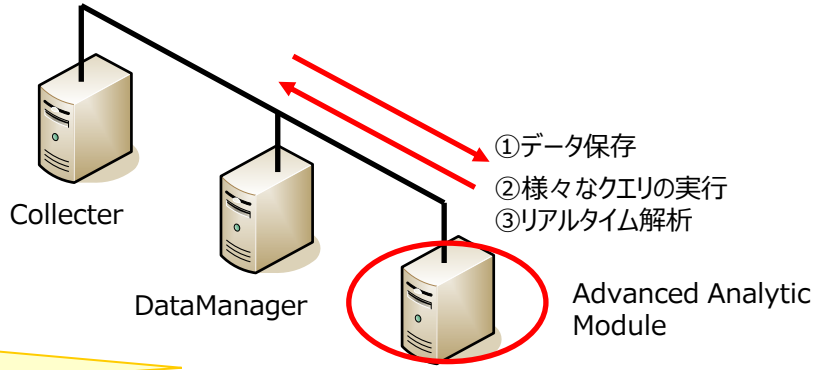
オプションDB（Advanced Analytic Module）

オプションDB（Advanced Analytic Module）とは

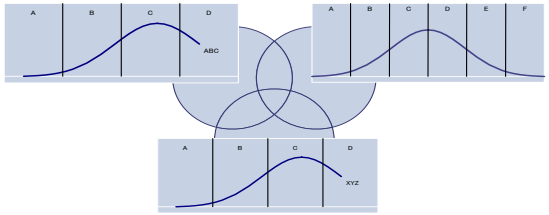
AMは訪問者ごとの時系列の行動ログをそのまま記録し、訪問者視点での個別アプローチを実現します。セグメンテーションやエリア定義等のフィルタリング機能を活用し、訪問者毎の行動パターンや閲覧傾向の特徴を絞り込み、違いをより具体的に掴むことができます。ログに戻って何度も再集計ができるため、視点を変えた複数の分析結果の比較を容易にします。APIでデータを出力し、BIツールで可視化、MAツールに連携し、セグメント毎にアクションを実行するなどが可能です。

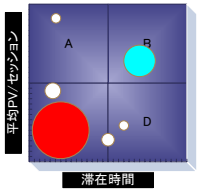
	サイト (*) / ページ (*)
1.	www.auriq.co.jp /rt/practical.html?link=side
2.	www.auriq.co.jp /rt/license.html?link=rtmnavi
3.	www.auriq.co.jp /rt/chart1.html
4.	www.auriq.co.jp /rt/index.html?link=rtmnavi
5.	www.auriq.co.jp /rt/license.html?link=rtmnavi
6.	www.auriq.co.jp /rt/

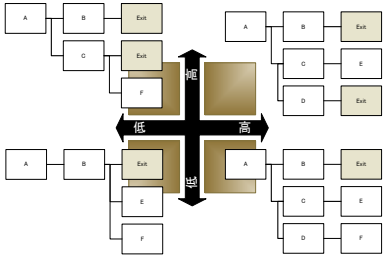
	サイト (*) / ページ (*)
1.	www.auriq.co.jp /rt/rtbandwidth.html?link=rtbrtbnavi
2.	www.auriq.co.jp /rt/b_function.html?link=rtbrtbnavi
3.	www.auriq.co.jp /rt/b_practical.html?link=rtbrtbnavi
4.	www.auriq.co.jp /rt/rtbandwidth.html?link=side
5.	www.auriq.co.jp /rt/license.html
6.	www.auriq.co.jp /rt/index.html?link=topside
7.	www.auriq.co.jp /rt/mobile.html?link=mainvisual
8.	www.auriq.co.jp /
9.	www.auriq.co.jp /



上図のような訪問者一人一人の渡り歩きを、
そのままの形でデータとして保存・解析するのがAdvanced Analytical Moduleです。



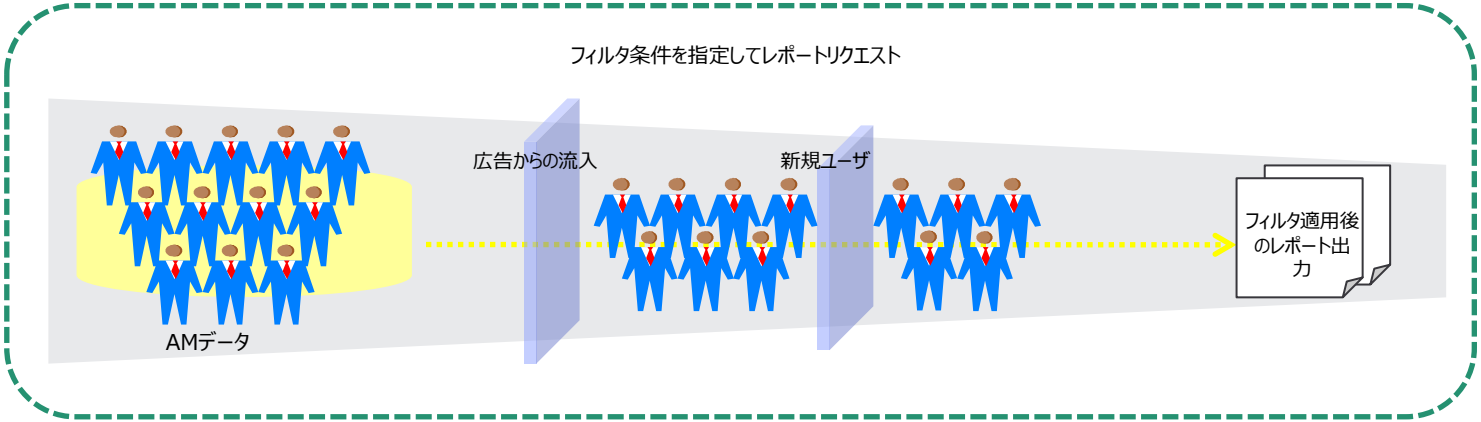




セグメンテーション機能-概要

AMでは、「エリア」「ユーザー分類」「動的レポートフィルター」といったセグメンテーション機能を用いて、特定のユーザ情報や特定サイト（ページ）でフィルタリングした結果をレポートする事ができます。

フィルタを利用する事で、例えば広告から流入した新規訪問者に限定して等の解析が可能になります。



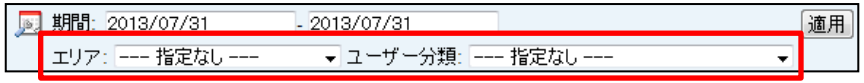
レポートによって、使用できるセグメンテーション機能は異なります。
また、「エリア」「ユーザー分類」が使用できる一部のレポートでは、Metricsレポートと同様に表のカスタマイズ機能が利用できます。

※設定の登録は各レポートユーザーが行えますが、グループで共有するものとして登録（グループ管理者機能）する事も可能です。

セグメンテーション機能-基本レポートでの活用

定型的に傾向を見る基本レポートでは、抽出したいセグメント情報（エリア・ユーザー分類）を事前に設定しておきます。

種類	レポート
エリア ユーザー分類	サイト-アウトライン
	サイト-リスト
	サイト-検索エンジン
	ROI解析-リスト
	トレンド-新規・再訪問別
	広告サマリー
	間接広告効果
	AMホットスポット



基本レポートではあらかじめ設定した「エリア」「ユーザー分類」を選択してレポートを出力できます。

エリア

解析対象としたいドメインやディレクトリ等を、あらかじめエリア定義として
設定する事が可能です。
エリアは、イベント情報に対するフィルター機能になります。
日付指定とともにフィルター指定を行えます。

ユーザー分類

新規・再訪を始めとして、直帰しなかった訪問者や個別の訪問者等をユーザー分類として
設定する事が可能です。
ユーザー分類は、セッション情報に対するフィルターになります。
日付指定とともにフィルター指定を行えます。

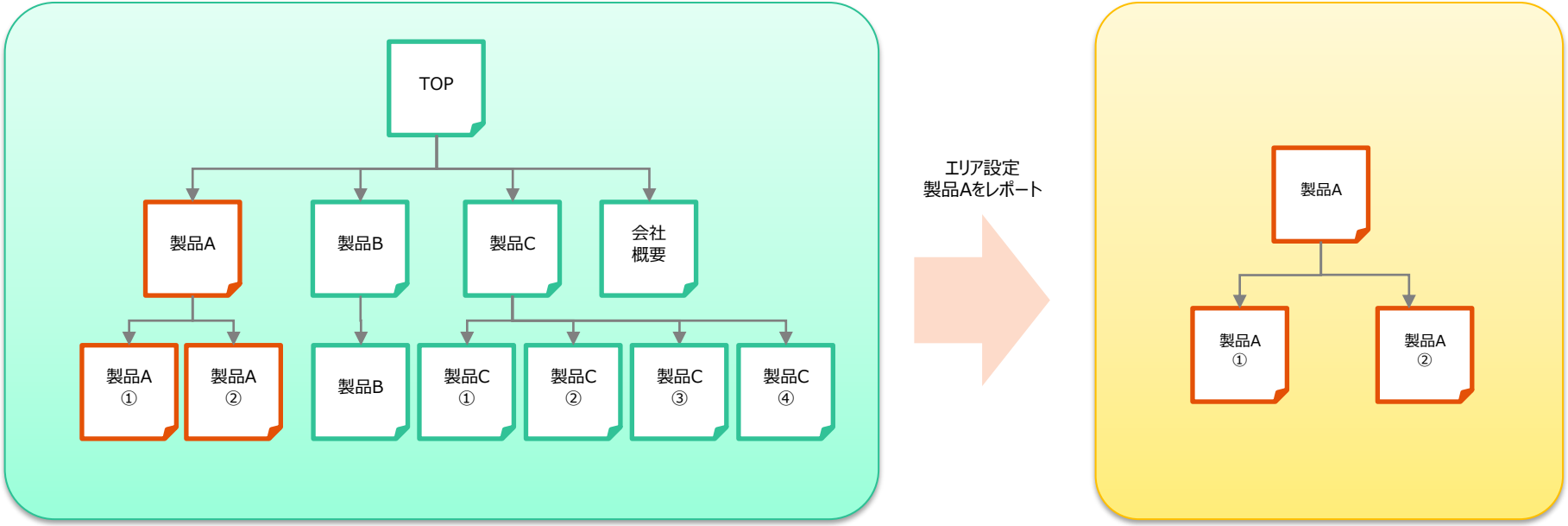
＋

表のカスタマイズ
フィルター

※「サイト-リスト」「サイト-検索エンジン」「ROI解析-リスト」
「広告サマリー」「間接広告効果」で利用可

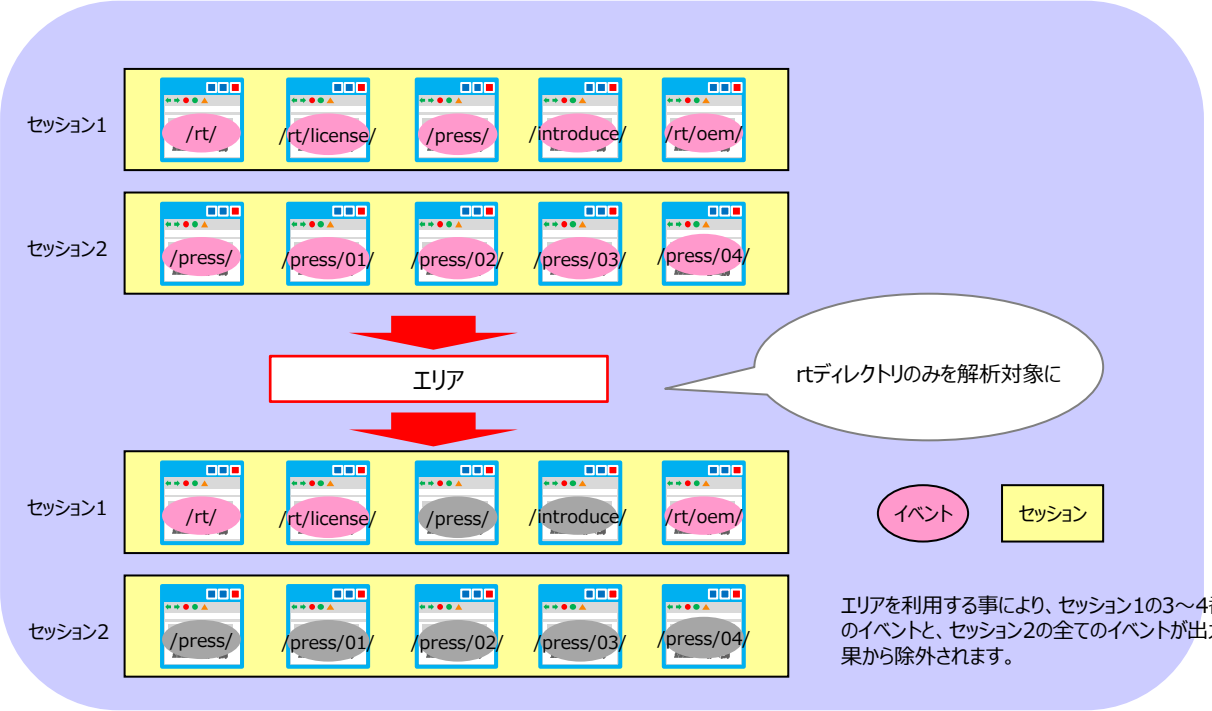
エリア-概要

「エリア」は、解析対象とするイベントを絞り込む場合に使用します。
例えば、 同一グループで複数サイトを解析している場合に特定のドメインのみをレポート対象としたり、特定のディレクトリへのアクセスのみをレポートしたい場合などに利用できます。
また、ディレクトリだけではなくファイル名（特定のキャンペーンページ等）を特定する事も可能です。



エリア-レポート処理

「エリア」を利用すると、レポート対象となるセッションから必要なイベントだけを抜き出してレポート処理を行います。

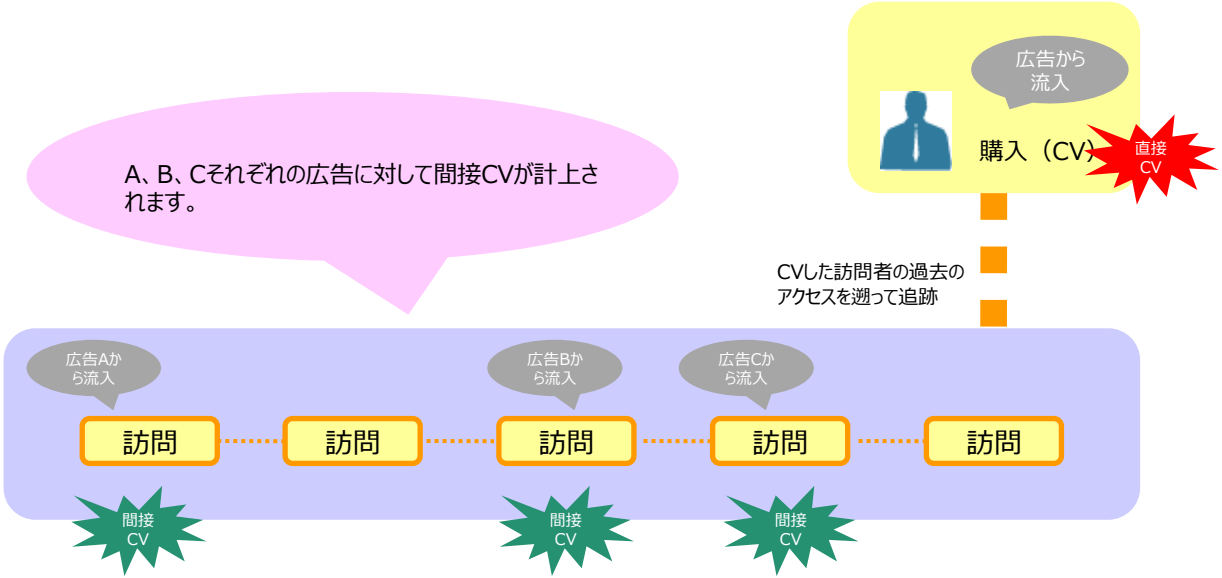


AM基本レポート一覧

AM基本レポート	
レポート名	内容
サイト-アウトライン	Webサイト解析上の重要な指標を一目で把握できるレポートです。
サイト-リスト	訪問者が解析対象サイトにアクセスした詳細情報を、期間別/入口ページ別/ページ別/流入別/ユーザ分類別に集計します。 詳細情報は、PV・セッション・ユニークユーザ数・直帰・直帰率・非直帰・平均セッション時間・平均PV/セッション・CV・CV率・CV価値・平均訪問回数・初訪・初訪率・再訪・再訪率です。ページ別レポートの詳細情報は、これらに加えてPV割合・最初のページ・最初のページ率・サイト内誘導・サイト内誘導率・最後のページ・最後のページ率・平均到達クリック数があります。
サイト-検索エンジン	SEO施策を検討するのに必要な詳細情報を、詳細/検索用語セット別に集計します。 詳細情報は、PV・セッション・ユニークユーザ数・直帰・直帰率・非直帰・平均セッション時間・平均PV/セッション・CV・CV率・CV価値・平均訪問回数・初訪・初訪率・再訪・再訪率です。詳細レポートの詳細情報は、これらに加えて参照元ドメイン・検索用語・入口ドメイン・入口ページがあります。（検索用語セットの表示には、設定が必要です。）
ROI解析-リスト	設定した経路を通過したセッション情報をレポーティングします。サマリ/レベル別/期間別の項目があります。 （効果測定やコンバージョンの分析に利用します。ROI解析の表示には、設定が必要です。）
トレンド-初訪・再訪別	初訪・再訪別・サマリを表形式で表示する他、新規・再訪別・ユニークユーザ数と新規・再訪別・CVとCV率を日ごとのグラフでも表示します。
AMホットスポット	設定したページから次にどのページに遷移したのかとラッキング情報をレポートします。 設定したページから順方向に1クリックの遷移を画面の各リンク上に円（●）で表現します（リンク上の●が大きいほど、多くクリックされています。）
広告サマリー	キャンペーン名・広告タイプ・媒体名・広告名・クリエイティブ・広告予備情報1・広告予備情報2・閲覧開始ドメイン・閲覧開始ページ・IMP数・セッション・CTR・CPC・ユニークユーザ・直帰・直帰率・非直帰・平均滞在時間・平均PV・CV・CV率・広告コスト合計・広告コスト（期間）・広告コスト（クリック）・広告コスト（CV）・CPA・CV価値・ROAS・新規訪問セッション・新規訪問率・再訪問セッション・再来訪率の詳細情報を集計します。
間接広告効果	キャンペーン名・広告タイプ・媒体名・広告名・クリエイティブ・広告予備情報1・広告予備情報2・閲覧開始ドメイン・閲覧開始ページ・IMP数・セッション・CTR・広告コスト合計・CPC・平均滞在時間・平均PV・直接CV・間接CV（1）・間接CV(2）・間接CV(3）・間接CV（4）・間接CV（5）・間接CV合計・直接／間接CV合計・直接CV比率・間接CV比率・直接CVR・直接／間接合計CVRの詳細情報を集計します。

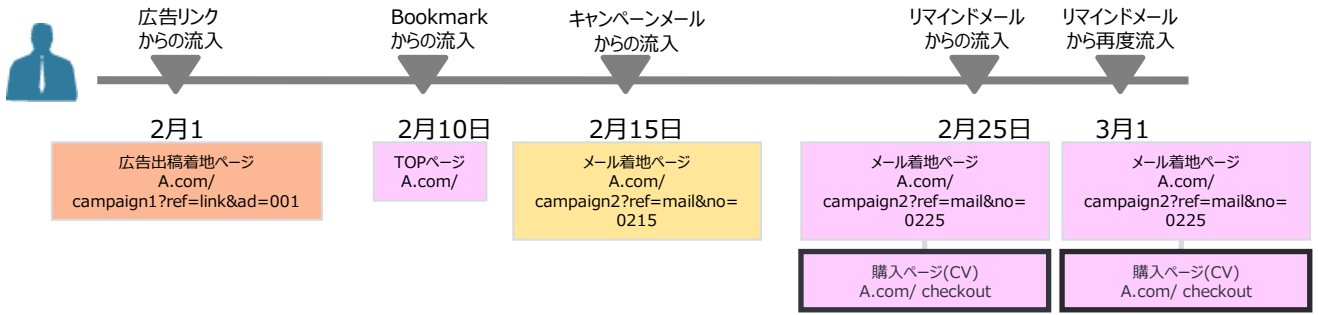
間接広告効果

間接広告効果レポートは、CVに至った訪問者の過去のアクセスを遡り、広告からの流入があればそれを間接的な効果があったとしてレポートします。
CVに至ったセッションを基点に、レポートの対象期間内で5回までを遡って計測を行います。



※レポート期間内であっても遡り期間がデータベース設定の「再訪判定時のさかのぼり日」を超える場合は前の訪問とみなされません。
※間接CVとなる入口ページは、広告情報としてアップロードされている必要があります。

間接広告効果集計例



入口ページ （汎用広告アップロード済URL）	レポート期間 2月1日～2月15日	レポート期間 2月25日	レポート期間 2月1日～2月28日	レポート期間 2月1日～3月1日
A.com/campaign1?ref=link&ad=001 （広告対象期間：2/1～2/28）			間CV(3):1	間CV(4):2
A.com/ campaign2?ref=mail&no=0215 （広告対象期間：2/15～2/28）			間CV(1):1	間CV(2):2
A.com/ campaign2?ref=mail&no=0225 （広告対象期間：2/25～3/10）		直CV:1	直CV:1	直CV:2 間CV(1):2

レポート：間接広告効果

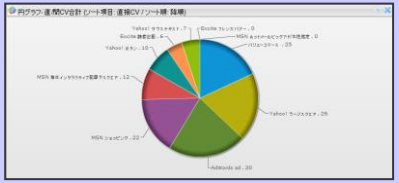
CV集計のためのROI解析設定を指定して間接広告効果レポートを表示します。

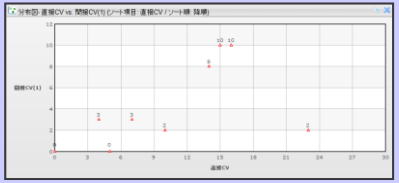
間接広告効果レポート

ROI選択 チェックアウト・プロセスの確認

総数: 15件 1/2 表示行数 10件

	媒体名	広告名	CTR	CPC	平均PV	直接CV	間接CV(1)	間接CV(2)	直接CVR	直/間合計CVR
計			N/A	N/A	1.31	94	42	6	1.54	2.33
1	バリューコマース		1.14	0.00	1.54	23	2	0	3.97	4.32
2	Yahoo!	ラージスクエア	1.57	350.14	1.35	16	10	0	1.49	2.43
3	AdWords	ad	0.99	117.65	8.94	15	10	5	88.24	176.47
4	MSN	ショッピング	0.60	371.08	1.26	14	8	0	1.19	1.87
5	MSN	毎日 インタラクティブ記事下スクエア	0.00	692.90	1.33	10	2	0	1.11	1.33
6	Yahoo!	ボタン	0.19	369.28	1.32	7	3	0	1.03	1.48
7	Excite	読者企画	0.00	1,404.49	1.80	5	0	1	2.81	3.37
8	Yahoo!	サウステキスト	0.08	361.01	1.18	4	3	0	0.72	1.26
9	Excite	フレンズバナー	0.23	4,464.29	1.00	0	0	0	0.00	0.00
10	MSN	ホットメールビッグアド/女性指定	0.00	250,000.00	1.50	0	0	0	0.00	0.00





間接広告効果レポートを見る場合には、以下を考慮してレポート期間の指定を行います。

・どの期間の間接効果を計測したいか
・いつのCVに対する間接効果を集計したいか

例えば、10月一ヶ月間を指定した場合には、10月中にCVした訪問者が10月中にどの広告から流入していたかの集計が行われます。（間接効果としての計測は5回まで）

間接広告効果レポート出力項目

出力可能項目	内容
キャンペーン名	広告情報のキャンペーン名
広告タイプ	広告情報の広告タイプ
媒体名	広告情報の媒体名
広告名	広告情報の広告名
クリエイティブ	広告情報のクリエイティブ
広告予備情報１	広告情報の予備情報１
広告予備情報２	広告情報の予備情報２
閲覧開始ドメイン	広告情報の入口ドメイン、流入のあった入口ドメイン
閲覧開始ページ	広告情報の入口ページ、流入のあった入口ページ
IMP数	広告情報の総IMP数÷広告期間日数×集計対象日数
セッション	該当広告から流入したセッション数 （※セッション開始のみ集計）
CTR(%)	セッション（流入）÷IMP数×100
広告コスト合計	広告コスト（期間）＋広告コスト（クリック）＋広告コスト（CV）
CPC(円)	広告コスト÷セッション（流入）

出力可能項目	内容
平均滞在時間	該当広告から流入したセッションの平均セッション時間
平均PV	該当広告から流入したセッションのPV平均
直接CV	該当広告から流入したセッションで対象期間にCVした数（指定ROIのシナリオが対象）
間接CV(1)～(5)	該当広告から流入した後にレポート対象期間内にCVした場合、間接CVに計上
間接CV合計	間接CV(1)～(5)の合計値
直/間CV合計	直接CVと間接CV(1)～(5)の合計値
直接CV比率(%)	直/間CV合計に対する直接CVの割合 直接CV÷直/間CV合計×100
間接CV比率(%)	直/間CV合計に対する間接CVの割合 間接CV合計÷直/間CV合計×100
直接CVR(%)	セッション数に対する直接CVの割合 直接CV÷セッション×100
直/間合計 CVR(%)	セッション数に対する直/間CVの割合 直/間CV合計÷セッション×100

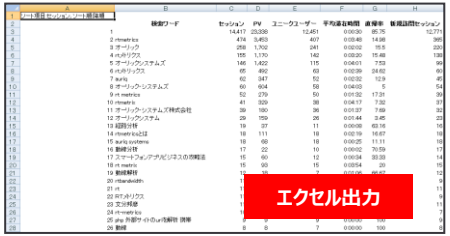
レポート概要：AM動的レポートの作成

各レポートメニューをクリックするとレポート指示画面が表示されます。（全訪問者の全履歴を除く）
都度、解析要件をセットし必要に応じてフィルタ操作を加えながら詳細分析を行います。

その都度ターゲット情報をセット

様々な要素を組み合わせて要件をセット

レポート表示

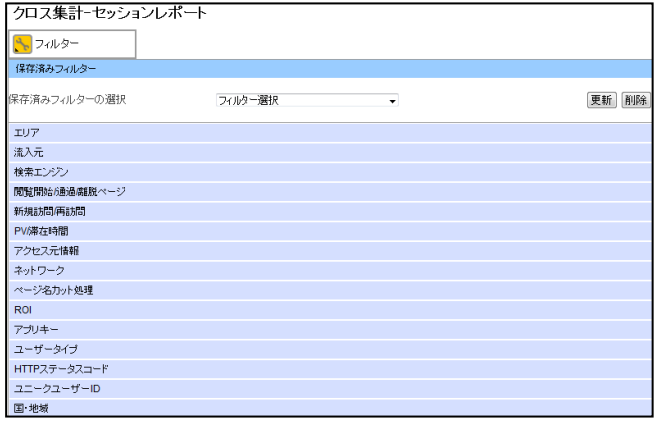


セグメンテーション機能-動的レポートでの活用

個別のアプローチをするために利用される動的レポートでは、都度フィルタを操作して必要情報を抜き出すことが可能です。よく使うフィルターについては、事前に保存し呼び出して使用する事もできます。

種類	レポート
フィルター	クロス集計-セッション
	クロス集計-イベント
	時間別集計
	時間別集計-イベント
	ROI解析-グラフ
	動的パス解析-リスト
	動的パス解析-ツリー図
	全訪問者の全履歴

動的レポートでは「フィルター」を利用できます。様々なフィルター条件の組み合わせでレポート出力が可能です。



フィルター（動的なフィルター）

動的レポート参照の際に、その都度指定する事ができます。また、よく使われる内容については、事前に設定し再利用も可能です。動的にかけるフィルターは、エリアやユーザー分類がもつフィルター内容を内包しています。

※フィルターには、エリアやユーザー分類で使われるセグメント方法が含まれています。

AM動的レポート一覧

AM動的レポート（※ダッシュボードに登録することはできません。）	
レポート名	内容
クロス集計-セッション	集計項目と集計値を指定して、セッション情報に基づいてデータをクロス集計するレポートです。 指定可能な集計項目は、参照元ドメイン・参照元ページ・検索用語・入口ドメイン・入口ページ・出口ドメイン・出口ページ・ブラウザ・OS・メンバ値です。指定可能な集計値は、セッション・PV・ユニークユーザ数・全体のセッション数・平均PV/セッション・平均セッション時間・直帰・直帰率・初訪・再訪・CV・CV率・CV価値です。 （多次元データの抽出が可能です。データの相関関係を分析するのに使います。メンバ値の表示には、設定が必要です。）
クロス集計-イベント	集計項目と集計値を指定して、イベント情報に基づいたデータをクロス集計するレポートです。 指定可能な集計項目は、ブラウザ・OS・メンバ値・ドメイン・ページ・参照元ドメイン・参照元ページ・検索用語・HTTPステータスコード・アプリキーです。指定可能な集計値は、セッション・PV・平均PV/セッション・平均閲覧時間・初訪・再訪・最初のページ・最後のページ・平均到達クリック数・ユニークユーザ数です。 （多次元データの抽出が可能です。データの相関関係を分析するのに使います。メンバ値とアプリキーの表示には、設定が必要です。）
時間別集計	集計値を指定して、時系列に集計するレポートです。指定可能は時系列は、1分毎・1時間毎・1日毎・1週間毎です。 指定可能な集計値は、セッション・PV・ユニークユーザ数・全体のセッション数・平均PV/セッション・平均セッション時間・直帰・直帰率・初訪・再訪・CV・CV率・CV価値です。 （時系列分析に特化したレポートです。）
時間別集計-イベント	集計値を指定して、時系列に集計するレポートです。指定可能は時系列は、1分毎・1時間毎・1日毎・1週間毎です。 指定可能な集計値は、開始したセッション・継続していたセッション・PV・開始したユニークユーザー・継続していたユニークユーザー・開始した新規訪問セッション・開始した再訪問セッションです。（時系列分析に特化したレポートです。）
ROI解析-グラフ	設定した経路を通過したセッション情報の参照元と検索キーワード、入口ページや経路を通過した回数をレポートします。 ここで設定されているROIはフィルタとしても利用できます。（効果測定やコンバージョンの分析、フィルタに利用します。表示には設定が必要です。）
動的パス解析-リスト	設定したページまたはセッション開始および終了時点から次にどのページに遷移したのか、トラッキング情報をレポーティングします。 25クリックまで、表示可能です。また起点と終点、つまり順方向と逆方向で追うことができます。 （経路分析やリンクによる誘導効果の分析に利用します。）
動的パス解析-ツリー図	設定したページまたはセッション開始および終了時点から次にどのページに遷移したのか、トラッキング情報をレポーティングします。 25クリックまで、表示可能です。また起点と終点、つまり順方向と逆方向で追うことができます。リストで表示しているのと同じデータをツリー図で表します。 （経路分析やリンクによる誘導効果の分析に利用します。）
全訪問者の全履歴	AM基本レポートおよびAM動的レポートの元になるデータです。つまり訪問者一人一人の行動を完全に保存し閲覧可能なレポートです。

AMフィルタ機能一覧

エリア	**エリア**			
	ドメイン（以下から選択）	ページ	マッチング方法（以下から選択）	
	すべてのドメイン/解析対象ドメイン	ページ名を入力	含む/含まない/一致する/一致しない	
ユーザ分類	**流入元**			
	ドメイン	ページ	マッチング方法（以下から選択）	
	ドメイン名を入力	ページ名を入力	含む/含まない/一致する/一致しない	
	検索エンジン			
	検索エンジン	検索用語	マッチング方法（以下から選択）	
	検索エンジンを指定しない/Google/Yahoo	検索用語を入力	含む/含まない/一致する/一致しない	
	閲覧開始/通過/離脱ページ			
	ドメイン（以下から選択）	ページ	ページの役割（以下から選択）	マッチング方法（以下から選択）
	すべてのドメイン/解析対象ドメイン	ページ名を入力	閲覧開始/通過/離脱	含む/含まない/一致する/一致しない
	新規訪問/再訪問			
	初訪ユーザ/再訪ユーザを選択			
	PV/滞在時間			
	項目（以下から選択）	以上	以下	
	PV/滞在時間（秒）	クリック数または滞在時間を入力	クリック数または滞在時間を入力	
	アクセス元情報			
	項目（以下から選択）	値	マッチング方法（以下から選択）	
	ブラウザ/OS/デバイスタイプ/デバイスモデル	ブラウザ・OS・デバイスタイプ・デバイスモデルを入力	含む/含まない/一致する/一致しない	

AMフィルタ機能一覧

ユーザ分類	**ネットワーク**		
	項目（以下から選択）	値	マッチング方法（以下から選択）
	IPアドレス/FQDN/接続元ドメイン	IPアドレス・FQDN・接続元ドメインを入力	含む/含まない/一致する/一致しない
	ページ名カット処理		
	パラメータをカット/ディレクトリ1階層～5階層にまとめるから選択		
	ROI		
	項目（以下から選択）	マッチング方法（以下から選択）	
	設定されているROIから選択	指定経路を通過/指定経路を未通過	
	アプリキー（※アプリキーはRTmetricsオリジナルの用語です。通常GET/POSTのデータ取得などに使います。アプリキーフィルタを使うには、設定が必要です。）		
	項目（以下から選択）	アプリキー	マッチング方法（以下から選択）
	クリックアプリキー/セッションアプリキーから選択	アプリキーを入力	含む/含まない/一致する/一致しない
	ユーザータイプ		
	ユニークユーザー/未定義ユーザーから選択		
	HTTPステータスコード		
	以上と以下の欄にHTTPステータスコードをそれぞれ入力		
	ユニークユーザーID（※ユニークユーザーIDはRTmetricsオリジナルの用語です。セッション判定および個の特定などに使います。ユニークユーザーIDフィルタを使うには、設定が必要です。）		
	値	マッチング方法（以下から選択）	
	ユニークユーザーIDの値を入力	含む/含まない/一致する/一致しない	
	ネットワーク		
	項目（以下から選択）	詳細エリア	マッチング方法（以下から選択）
	設定されている国/地域から選択	設定されている都道府県から選択	一致する/一致しない

Strictly Confidential and Proprietary, Not for distribution

RTmetrics®データの優位性

個人情報保護の観点から

個人情報保護の世界的な潮流：ITP・ETPとRTmetrics

欧州のGDPR、米国カルフォルニア州のCCPA、日本の改正個人情報保護法など、近年個人情報を保護するための法制度が各国で強化されています。テクノロジーを用いたサービスを提供する各社ベンダー側もこれらのトレンドと同期をとった独自規制を導入しており、AppleのITP、FirefoxのETPなど、広告で使われる3rd party CookieやLocalstorageを完全に無効化し、Webアクセス解析やDMPで広く使われているビーコンタグを用いた1st Party Cookieも、現在は、その有効期限は1日まはた7日に制限されています。

日単位で変わるCookie値は、データ上では連続性を持った同一端末、同一ユーザのアクセスとしては認識することはできないため、時系列のアクセスデータの正確性を大幅に損ねる結果が明らかとなっており、マーケティングにおけるデータ活用の観点からは、この問題が世界的なトレンドとしては不可避であるがゆえに、大きな課題になっています。

AURIQ製品は、その多くがお客様側の環境にインストールしてご利用頂く、オンプレミス型のソフトウェアであり、かつ製品の使用にあたっては、サーバサイドのファーストパーティCookieを用いた実装をご提案しております。
そのため、RTmetricsで取得したデータがITP・ETPの影響を受けることはございません。

ご導入に際しては、本コンテンツの内容を事前にご確認の上、ご不明な点やご質問等がございましたら、AURIQの技術スタッフまでお問い合わせ下さいますよう、お願い申し上げます。

ITP・ETPの具体的な影響について

ITPの影響

ブラウザーのInspect機能を用いてCookieの状態を確認してみると、例えば、とあるサイトに2020年4月20日にChromeとSafariでアクセスした状態を比較してみます。
Chromeでは以下のように、非常に沢山のターゲティング広告用のCookieを許可しており、かつ、Google AnalyticsのCookieも2022年まで長期の有効期限になっています。

Name	Value	Domain	Path	Expires / Max-Age	S…	HttpOnly	Secure	SameSite
__Secure-SSID	AdrF11jrq0JY4l00w	.google.com	/	2020-08-01T06:59:59.752Z	30	✓	✓	None
__sonar	18406040951502949081	.doubleclick.net	/	2020-06-29T18:49:24.000Z	27			
_dpm_id.5467	403769d3-9ecd-45cb-a452-7648a682a8d0.1550…	.doubleclick.net	/	2021-02-21T12:27:31.000Z	1…			
_fbp	fb.1.1577744572662.1578776868	.doubleclick.net	/	2020-07-07T00:22:36.000Z	33			
_ga	GA1.2.232974048.1528219416	.pivotbillions.com	/	2022-04-20T22:46:11.000Z	29			
_gat_gtag_UA_98179756_3	1	.pivotbillions.com	/	2020-04-20T22:47:11.000Z	24			
_gid	GA1.2.1810436901.1587414268	.pivotbillions.com	/	2020-04-21T22:46:11.000Z	31			
aqusr	MYDATA01_K4QBTB65GHR9S8CRZLYF	.pivotbillions.com	/	2022-04-20T22:46:11.953Z	34			
aqusr	MYDATA01_PD7AH9D22WNRFGJDGVRD	pivotbillions.com	/	2022-04-20T22:46:11.000Z	34			

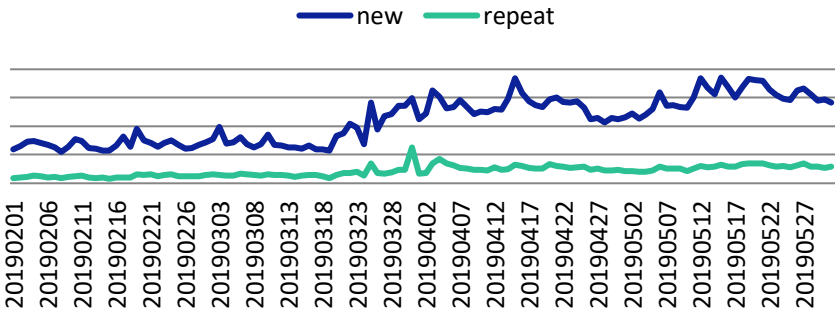
しかしSafari(ITP2.3)の場合には、ターゲティング広告用Cookieは全て排除され、Google AnalyticsのCookieも有効期限が最大で7日間に制限されています。7日間が経過するとCookieは有効期限を迎え無効となり、新しい値が払い出されます。これは、サイト運営側が用いるツールの上では同一訪問者のアクセスデータを7日間を超えて、記録することができない状態であることを意味します。

Name	Value	Domain	Path	Expires	Size	Secure	HttpOnly	SameSite
_ga	GA1.2.807768414.15…	.pivotbillions.com	/	4/27/2020, 3:28:39 …	29 B			—
_gat_gtag_UA_98179756_3	1	.pivotbillions.com	/	4/20/2020, 3:29:39 …	24 B			—
_gid	GA1.2.968612674.15…	.pivotbillions.com	/	4/21/2020, 3:28:39 …	30 B			—

データに及ぼしている影響について

データに及ぼす影響について

- グラフはあるサイトのSafariのアクセス数の変化を記録したものです。
- AppleがITP2.1を2019年3月にリリースした直後から、新規ユーザーが急増しています。ITPの制限に抵触したユーザのCookieが削除され、Cookieが新たに発行される事態が大幅に増えた結果、見かけ上の新規訪問者やユニーク数がデータ上で急激に増加しています。



ITPは、2019年内だけでも、ITP2.2、ITP2.3と段階的に規制を強化しており、さらにFirefoxやChromeも個人情報を保護する姿勢を表明し、この動向に追従しています。
個人情報保護のトレンドは、世界的にも強化される方向に進んでおり、企業が自社のビジネスの評価や改善のために安心してデータを活用し続けるには、抜本的かつ恒久的な対策を実施することが重要となってきています。

まとめ

1. Safariなど一部のブラウザは3rd Party Cookieの利用を制限おり、その傾向は他のブラウザに拡大し、将来的に渡って、一層規制が強化されることが予測されます。AURIQは提供する全てのソフトウェアでサーバサイドの1st Party Cookieを用いた実装を推奨、具体的な実装方法をサポートしております。

2. AppleがSafariに実装したITP（Intelligence Tracking Prevention）により、JavaScriptで生成されるCookieは、1st Party Cookieであっても短期間（1日間、最長で7日間）で削除されます。また、FireFoxでも同様のレギュレーション（Enhanced Tracking Protection：ETP）が実装されています。

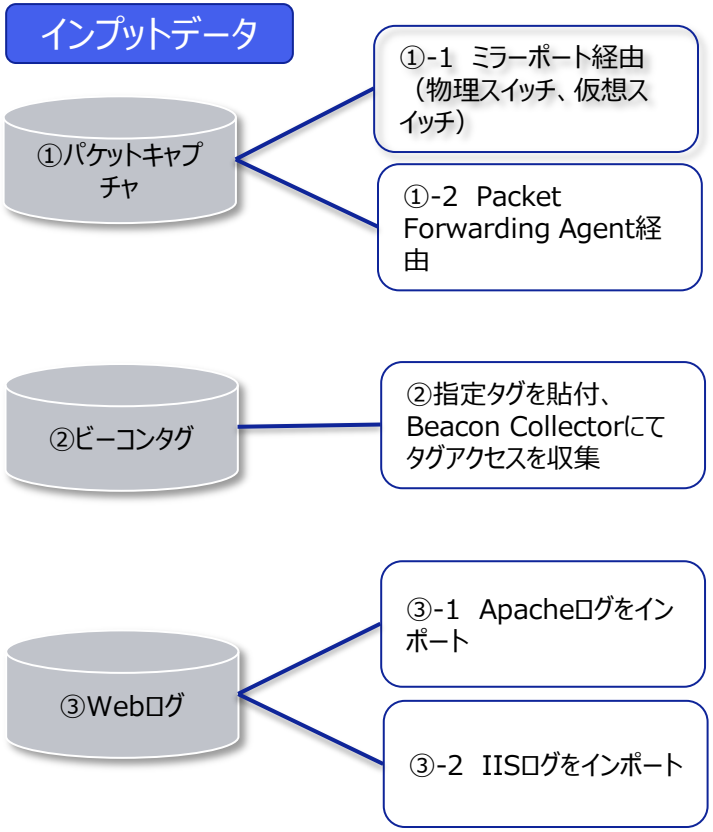
3. サービスの運営主体として、これらのレギュレーションの影響を受けることなく、有効なデータを獲得する解決策は、サーバサイドCookieを用いた実装を行うこと、のみとなります。外部のSaaSサービスを使う場合は、タグ計測サーバのドメインを1st Party化することが必須となります。

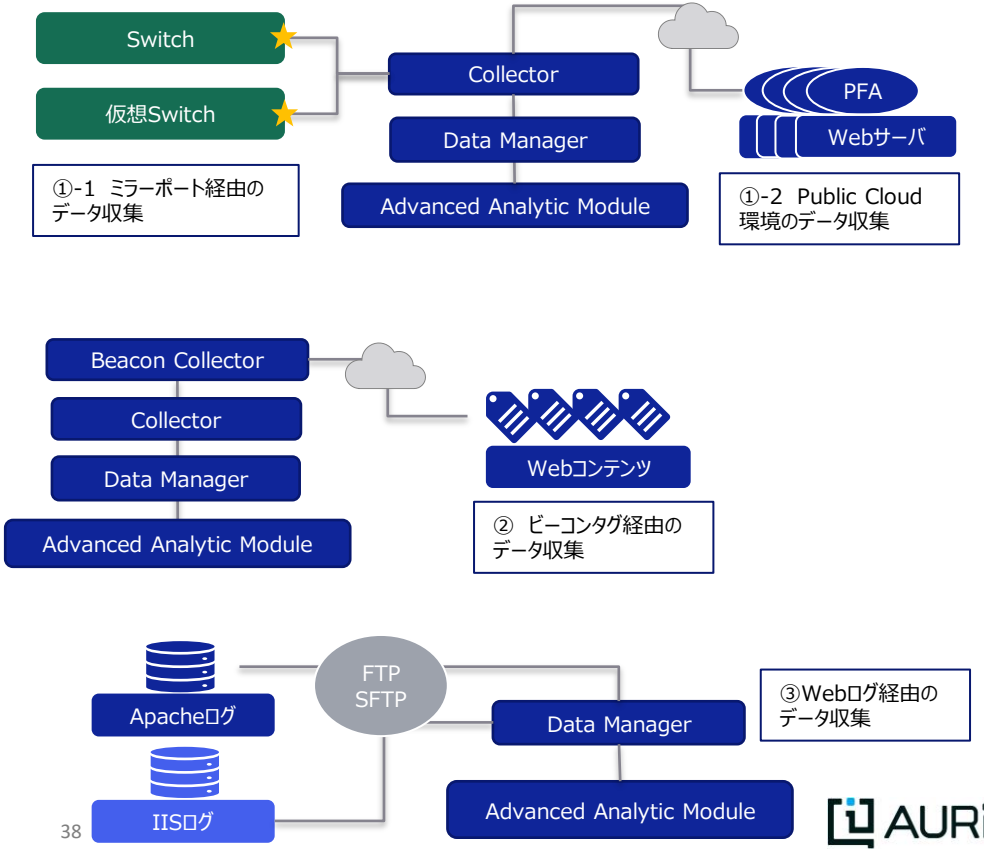
4. RTmetricsはGDPRに完全対応。データを匿名化し保存する設定を備え、削除依頼のあったデータ主体に該当するデータを検索し、データベースから過去に遡って削除する機能が標準実装されています。プレイバシー保護の関連法規を遵守したデータ活用や運用体制の構築を強力にご支援します。

RTmetrics構成例

データ収集方式により、3パターンから選択可能
サイトの規模に合わせてサイジングします。

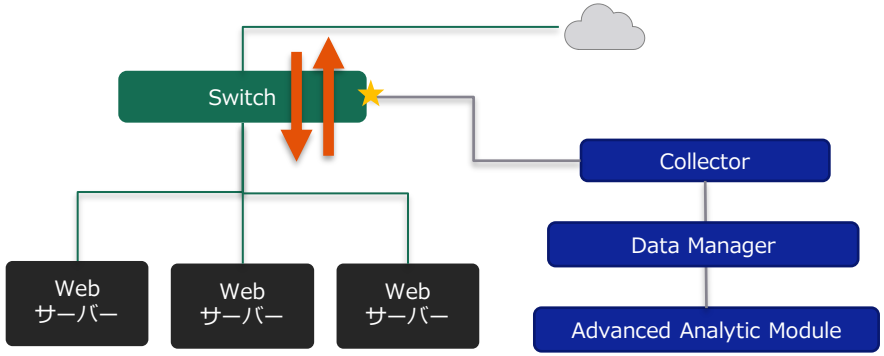
RTmetrics 構成例



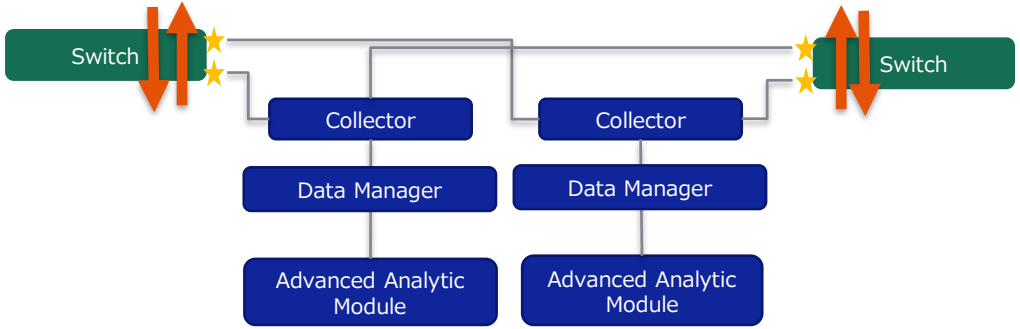


ミラーポート経由でデータ収集

上り・下り双方向をミラーポートに出力



冗長構成の場合、ミラーポートは2か所

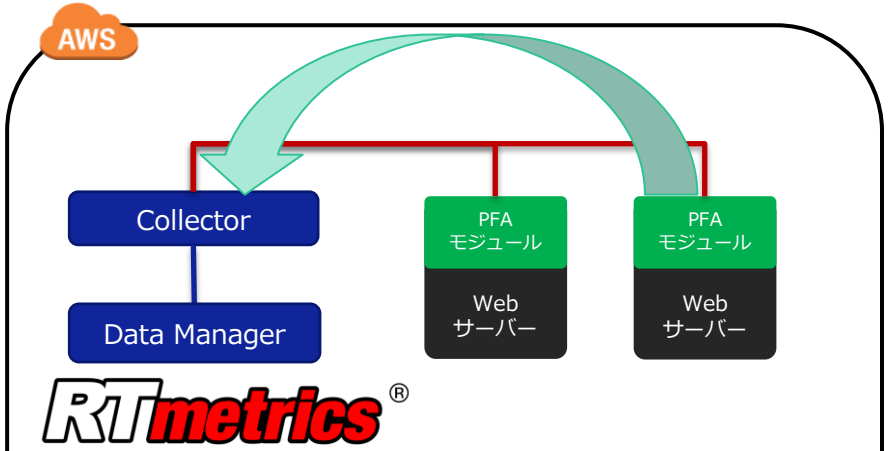


項番	注意事項
1	上り・下り双方向のトラフィックをミラーポートに出力するよう、設定して下さい。
2	上り・下り双方向のトラフィックの合計がミラーポートの容量を超過しないよう、留意して下さい。 ※ミラーポート経由のトラフィックのため、再送がかかりません。
3	トラフィック量が多くミラーポート経由だとパケットドロップが懸念される大規模サイトの場合は、タップやL1スイッチによるデータ取得、トラフィック分岐をご検討下さい。 ※機器のご提案も可能です。
4	RTmetrcsを冗長化構成で構築する場合、ミラーポートを設定する機器が2つ設定できるか仕様をご確認下さい。

Strictly Confidential and Proprietary, Not for distribution

Packet Forwarding Agentでデータを収集

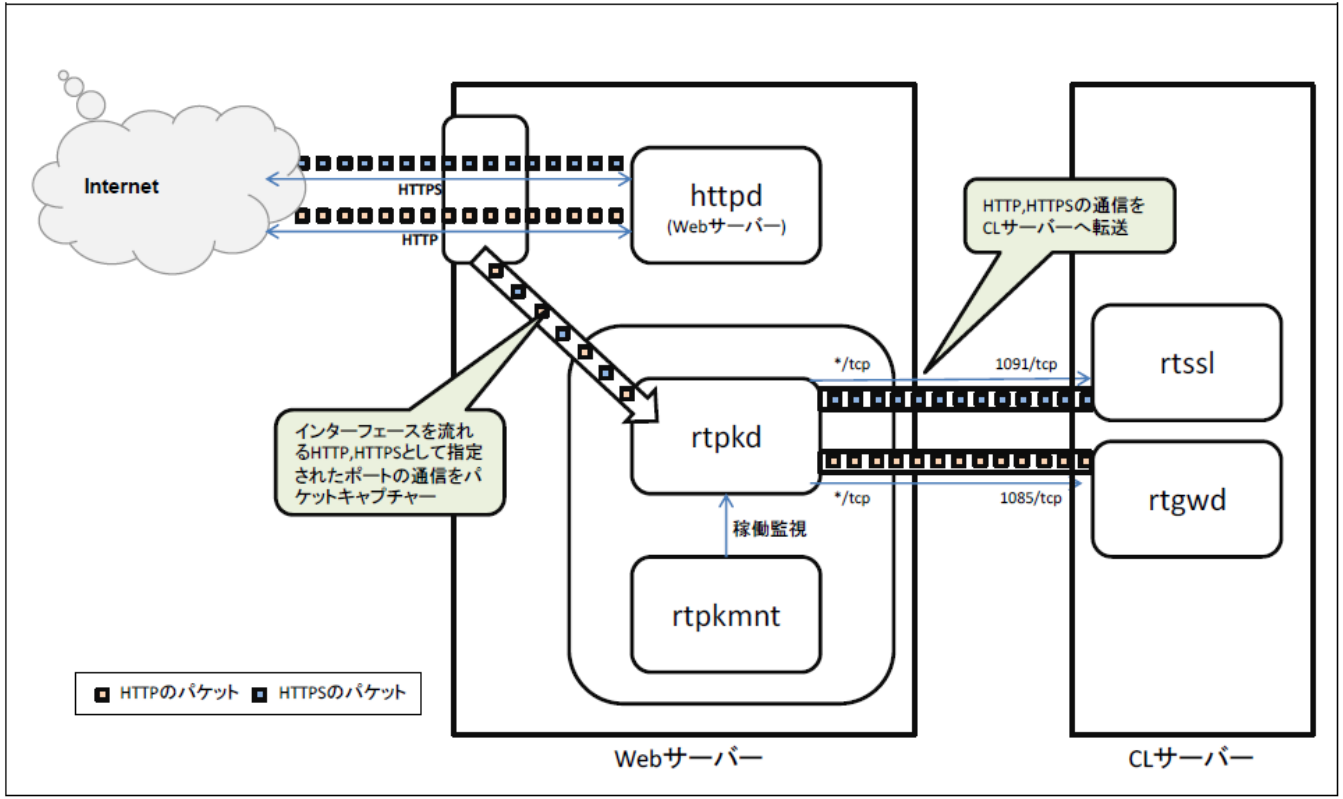
Packet Forwarding Agent（以後PFAと記載）は受信したパケットのうち、指定したTCPポートの通信をCLサーバに転送する機能に特化したAgentです。各Webサーバ内にAgentを配置するだけのシンプルな実装で、かつRTmetricsのバージョンに依存せず動作するため、初回インストール後、メンテナンス頂く必要はありません。WebサーバのイメージにPFAを含めて頂くことでクラウド上で容易にスケールさせることができます。



各PFAで収集したWebサーバの通信データはCLサーバに転送されます。
CLサーバ以降のデータ処理は、既存のRTmetricsと同じになります。
RTmetricsの管理画面上に実装されているデータ加工用の設定を反映したアクセス解析データが生成され、既存のDBに蓄積します。

項番	PFAの動作要件（概要）
1	PFAモジュールのメモリ使用量は約100MB
2	起動時に約10MB程度の連続したメモリ空間を確保するため、ディスク使用量は約10MB
3	仮想環境のWebサーバ内で動作させる場合は、1～2コアをRTPFA向けに割当頂くことを推奨
4	OSはLinuxにのみに対応しています。 ※Windows非対応（2018年5月時点）

Packet Forwarding Agentデータ処理の流れ

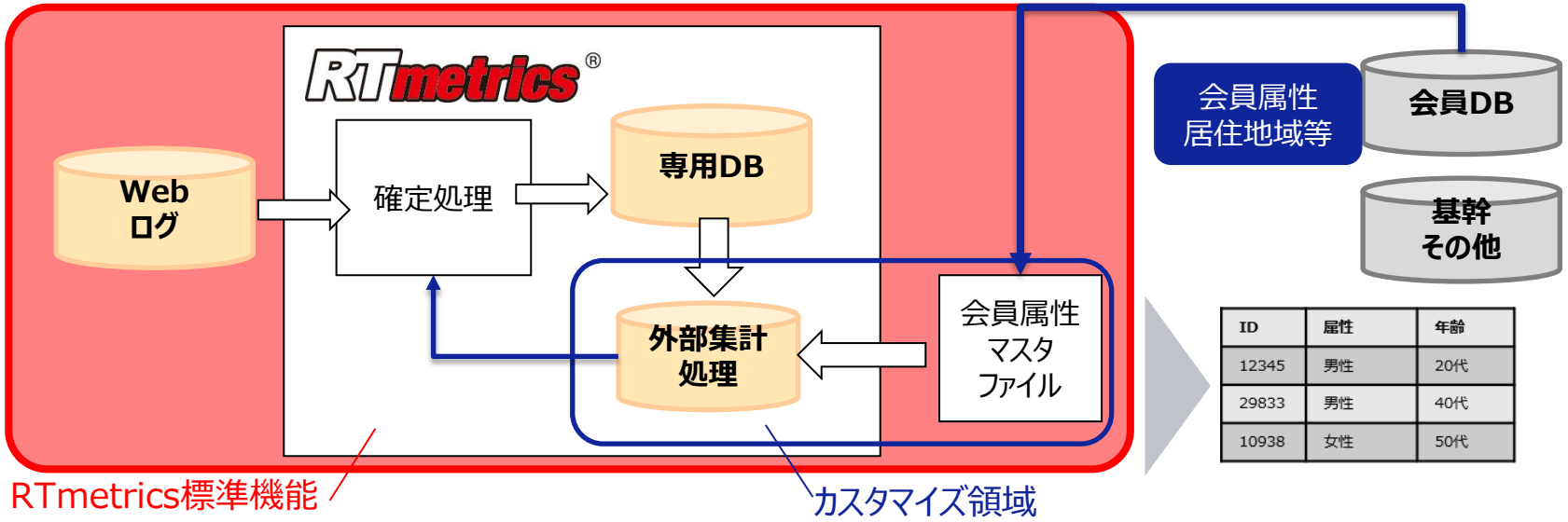


カスタマイズ例

Webアクセス解析データの拡張利用

カスタマイズ：アクセス解析データを顧客理解に活用

～Web上の行動データと会員マスタを連携、会員毎の行動を可視化



RTmetrics®で取得しているデータはAPIを使って要件に合わせて加工し、カスタマイズや外部システムとの連携に活用することが可能です。UIを用いた分析以外にお持ちのデータの活用の範囲を広げることが可能です。

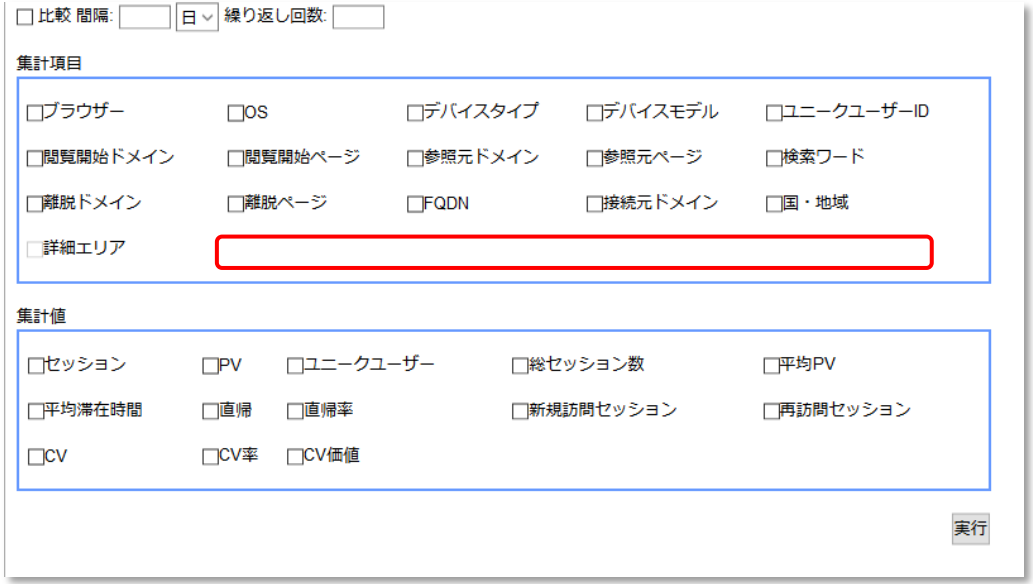
上記はサイト側で取得している会員IDのデータと会員マスタのデータを連携するカスタマイズにより、アクセス解析指標に会員属性を追加する例です。

カスタマイズ：会員カテゴリやランク等をUI上に実装する例

～Webアクセス解析データにマスタデータを連携、セグメント（ディメンジョン）データとして活用する

フィルタ

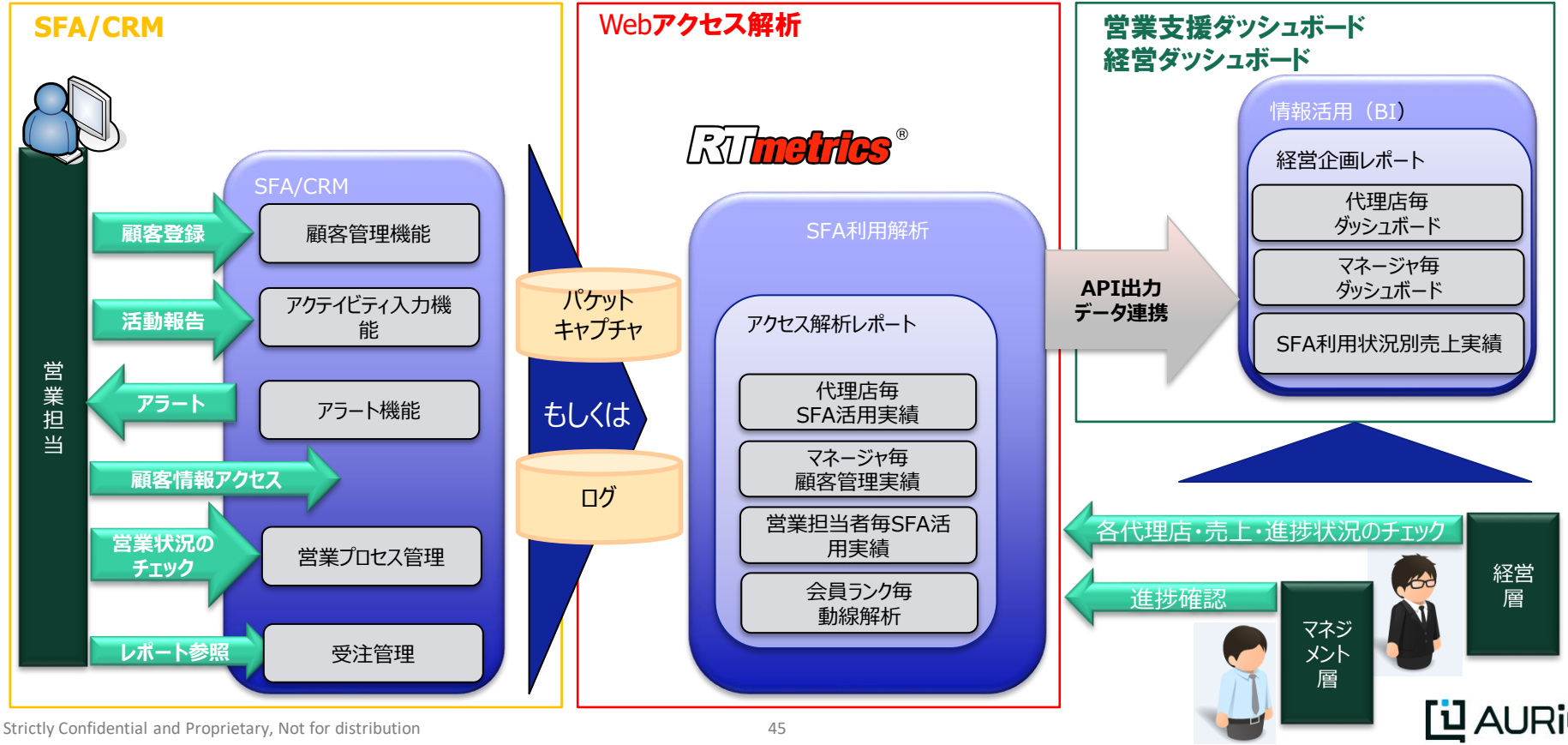
レポート項目



会員カテゴリやランク等の項目をフィルタおよび
集計項目に追加

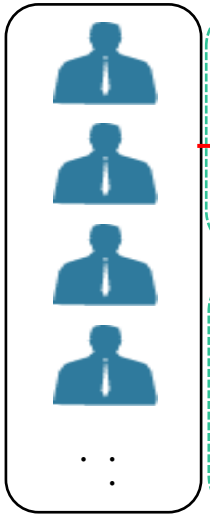
カスタマイズ：パートナー向けポータルサイト×会員ランク

～Webアクセス解析データにマスターデータを連携、ポータルの活用度・顧客管理データとして活用

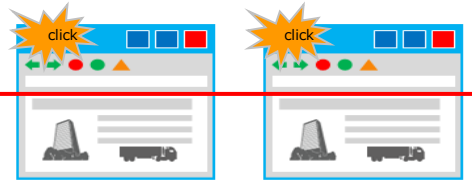


カスタマイズ：Webアクセス解析×会員ランク

～連携したWebアクセス解析データと会員マスタデータの可視化に利用中のBIを活用

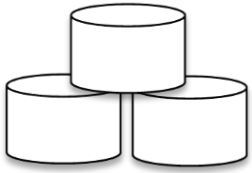


Webログ



アクセス履歴

CRM/ERP



会員情報	属性情報
ログイン履歴	利用履歴
ポイント履歴	メルマガ登録状況

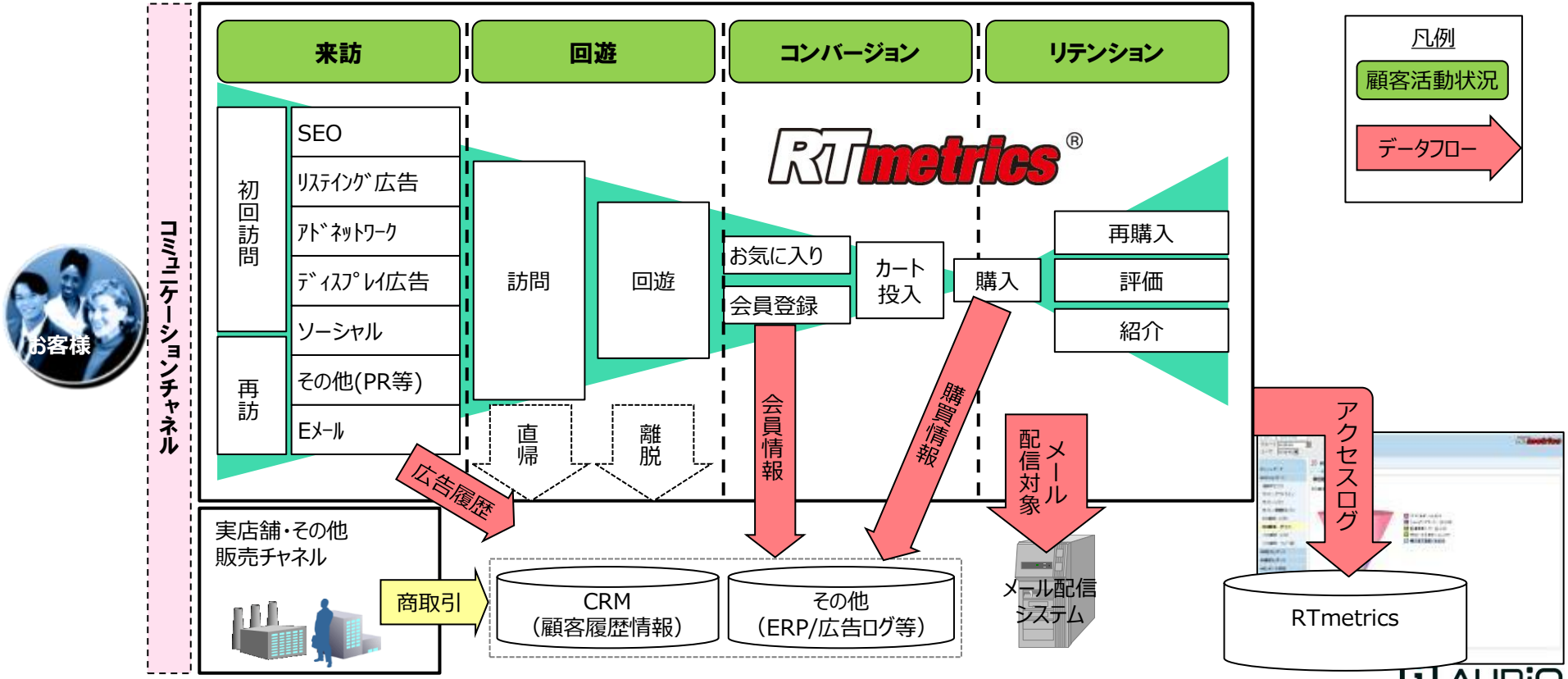
- 導線分析など、ユーザーの動きの詳細が追えるようになった
- 処理速度が改善し、分析の要望に迅速に応えられるようになった
- トラフィックの増加に伴う料金増加の心配がない
- 他部署で使っているBIにデータを連携し、データの活用を促進
- クロス分析など踏み込んだ分析を実現。
- Webログを会員データを連携し、会員毎の行動パターンを可視化。

tableau SOFTWARE

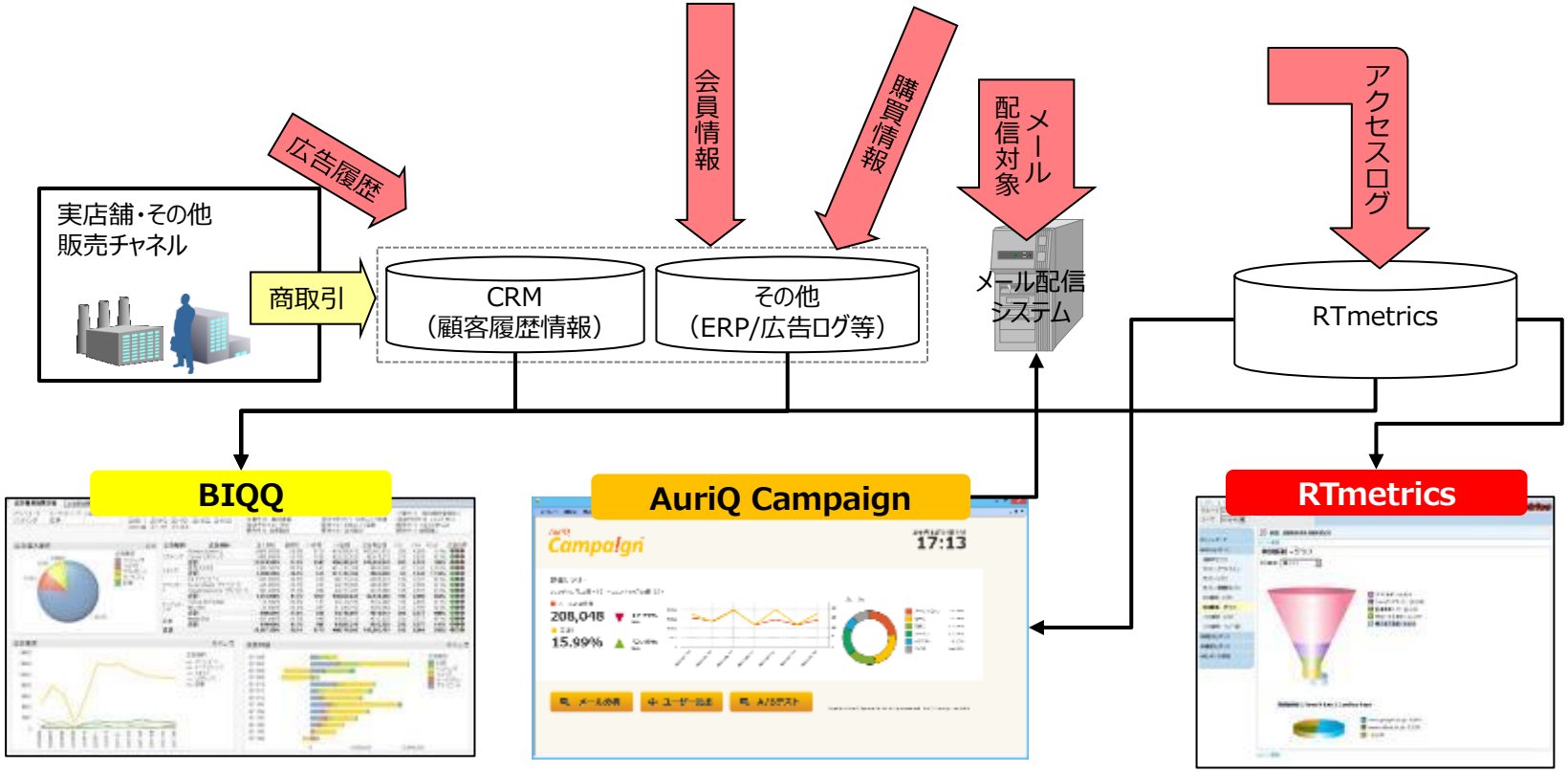
Qlik

顧客理解の深化
分析業務の高速化・効率化

解析データを外部システムと連携、マーケティング基盤へ拡張



RTmetricsでは豊富なエクステンション群も利用可能

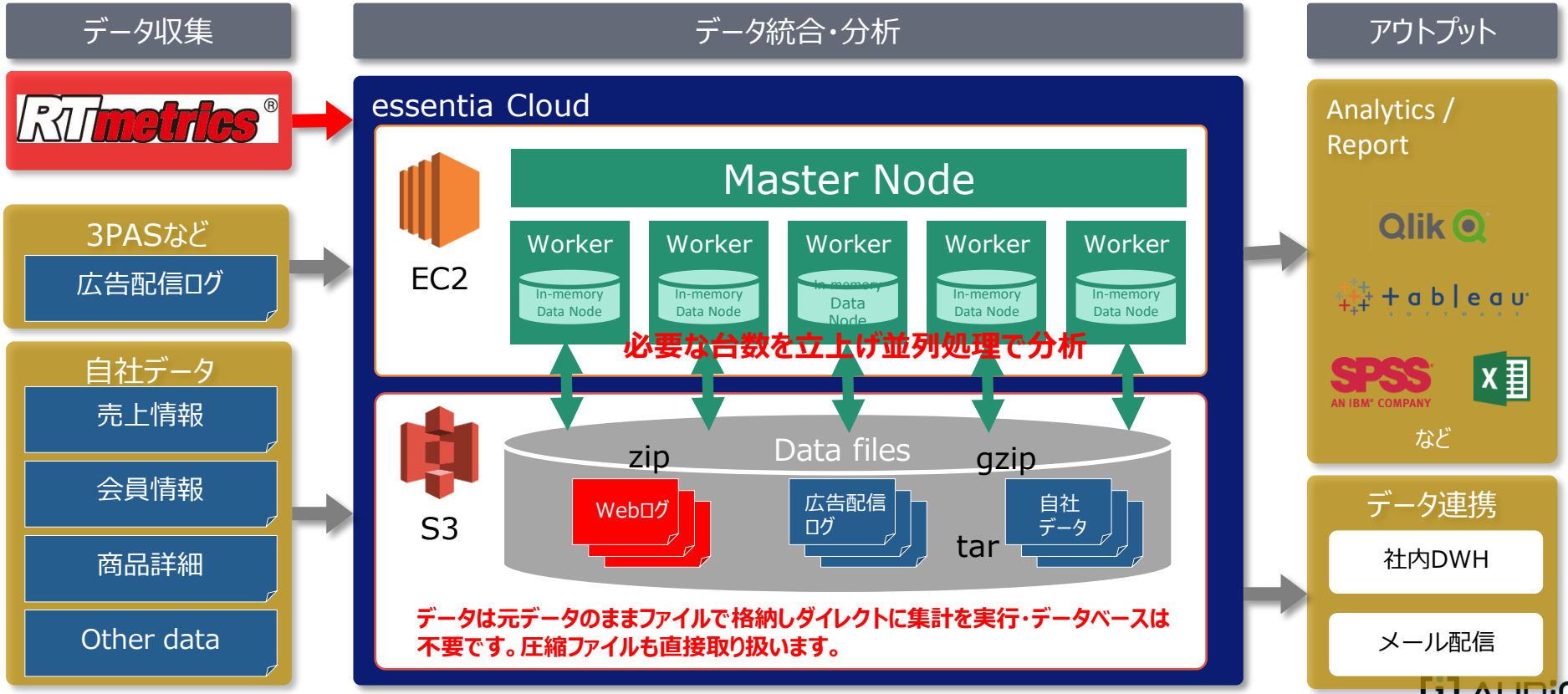


ビッグデータ対応

将来的なデータの肥大化への対策、クラウドサービスを有効活用

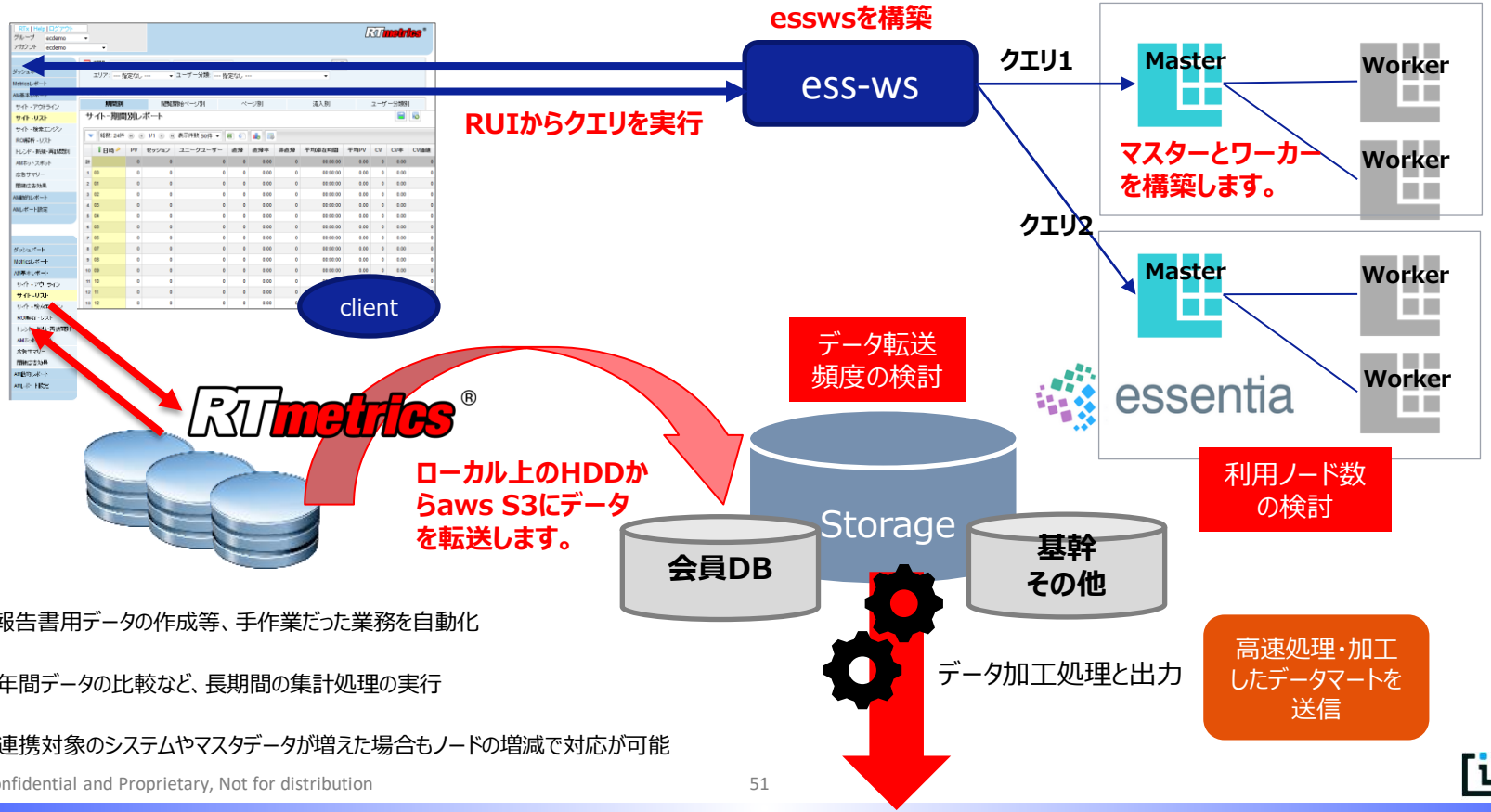
ビッグデータ対応：データレイククラウドとのシームレスな連携

～essentiaはインメモリ・並列分散処理が可能なデータレイククラウドサービス



ビッグデータ対応：RTmetricsのUIからシームレスに連携

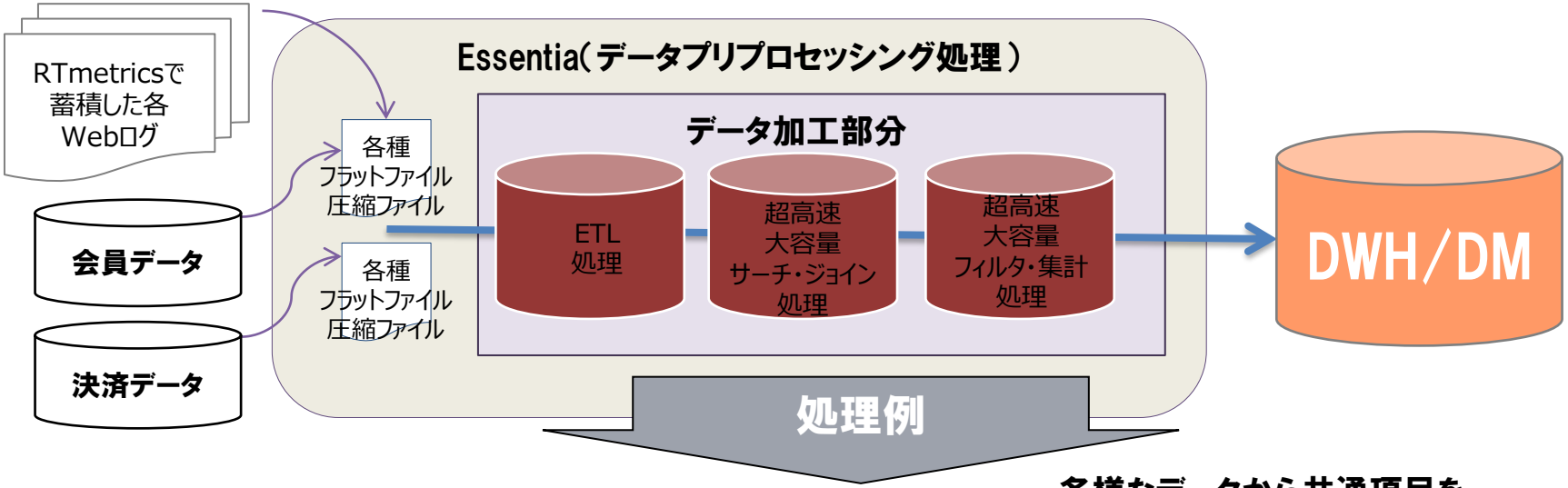
～RTmetricsのデータ処理のバックエンドにessentiaを連携させることが可能



1. 報告書用データの作成等、手作業だった業務を自動化
2. 年間データの比較など、長期間の集計処理の実行
3. 連携対象のシステムやマスタデータが増えた場合もノードの増減で対応が可能

ビッグデータ対応：顧客行動の一元化　カスタマージャーニー

～あらゆるタッチポイントを跨いだ顧客行動を統合し、顧客理解の深化を獲得



処理例

多様なデータから共通項目を抜き出して単一レコード化

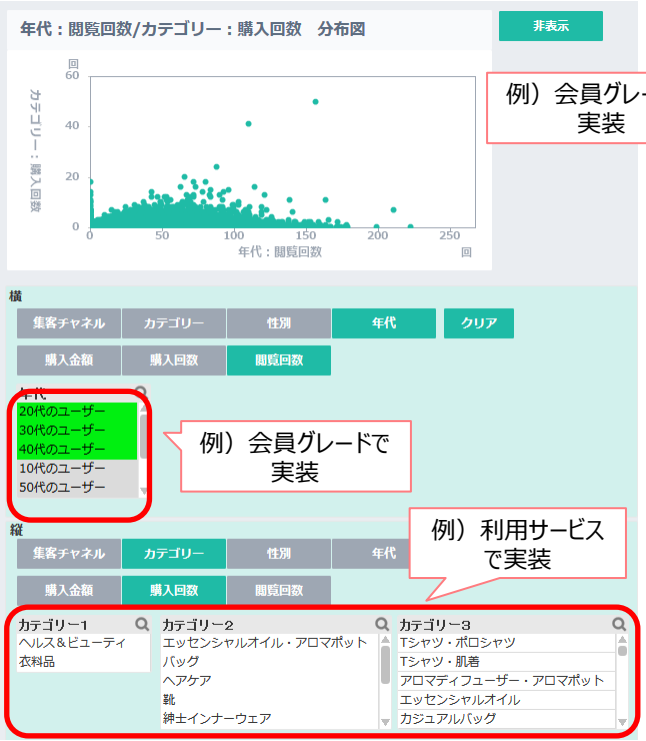
Officalサイト	Time	Place	Cookie	……	サイト訪問履歴
OnlineShop	Time	Place	Cookie	……	サイト訪問履歴
⋮					
ERP（リアル店舗）	Time	Place	顧客ID	……	購買

Time	Place	顧客ID	……	購買

AURiQ

ビッグデータ対応：カスタマージャーニーデータの可視化

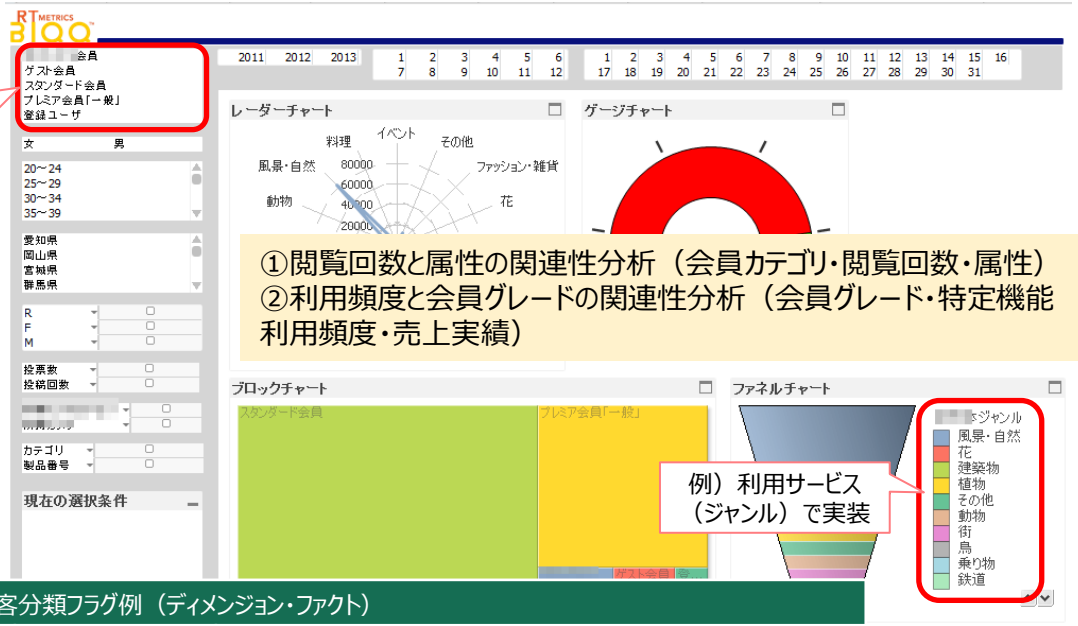
～定期的にチェックする指標は、データを加工し連携、CRM分析を目的にダッシュボードで可視化



例）会員グレードで実装

例）会員グレードで実装

例）利用サービスで実装



①閲覧回数と属性の関連性分析（会員カテゴリ・閲覧回数・属性）
②利用頻度と会員グレードの関連性分析（会員グレード・特定機能利用頻度・売上実績）

例）利用サービス（ジャンル）で実装

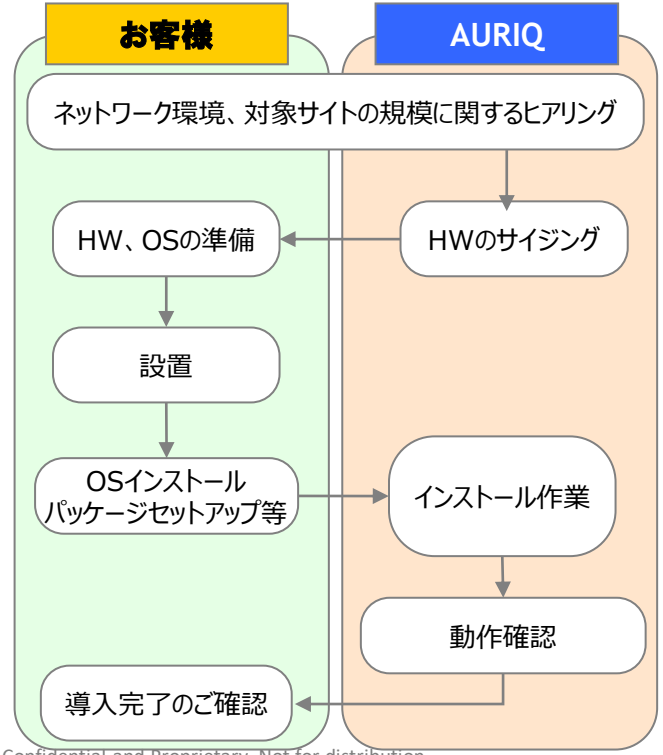
顧客分類フラグ例（ディメンジョン・ファクト）

1	一般顧客	月間1～4回の頻度でサイトを利用しているアカウント
2	優良顧客	月間10回以上、サイトを利用しているアカウント
3	休眠顧客	1か月以上サイトへのアクセスがないアカウント
4	離脱顧客	3か月以上サイト来訪がないアカウント

ご導入時にご提供可能なサービスについて

RTmetricsインストール作業

RTmetricsの導入にあたり、インストール作業を行います。



ご手配頂くもの

①対象サイトを設置している環境のネットワーク構成図
②担当営業からお渡ししているヒアリングシートへのご記入と授受
③HWの手配・設置・結線、OSのインストール、rpmパッケージのセットアップ
④解析対象サイトのデータ収集のための各種設定
・パケットキャプチャ設定（ミラーポートの設定、PFAのセットアップ）の実施
・ビーコンタグの実装
・Webログの転送設定

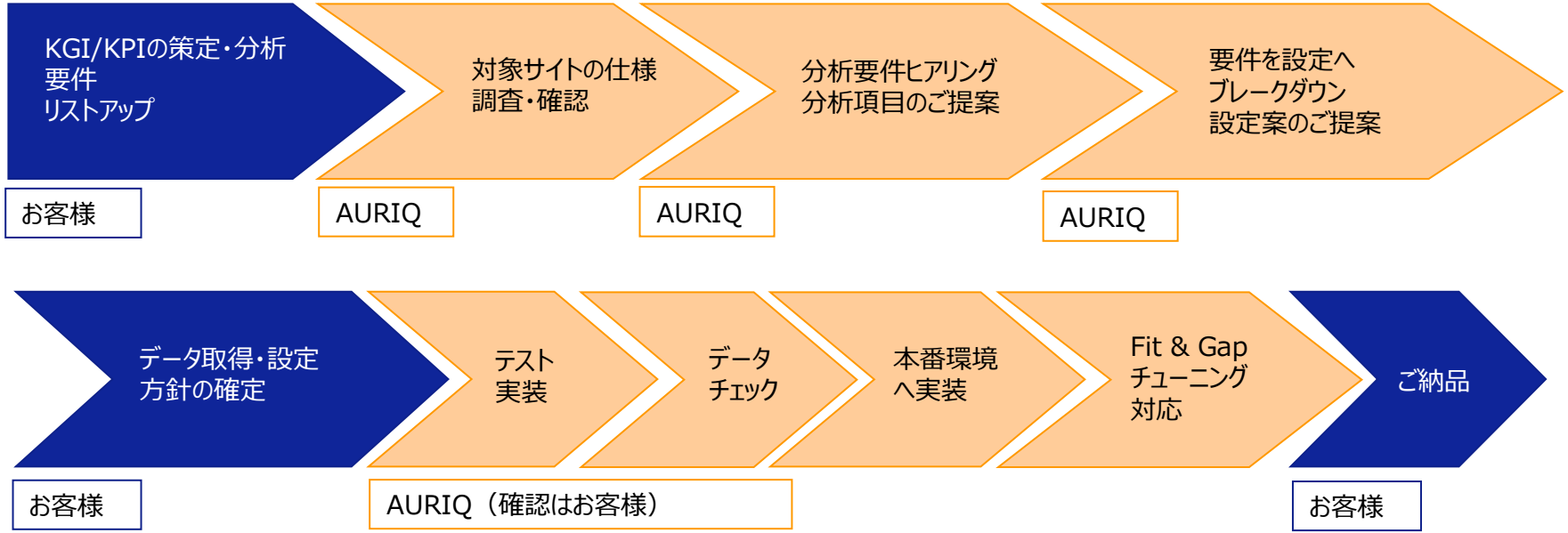
注意事項

RTmetricsのインストール作業は実装先の環境により、オンサイト作業・リモート作業を確認させて頂く想定でおります。（作業費用が若干異なります）

Strictly Confidential and Proprietary, Not for distribution

設定コンサルティングサービス

分析要件を満たすデータをRTmetrics®で取得し、解析するための各種設定のご提案・実装を行います。分析要件のヒアリング、各指標のご提案後、RTmetrics®の解析設定を進めて行きます。ご導入後、RTmetrics®をすぐに業務にご活用頂けます。分析に利用しやすいデータを取得する、GDPRに対応した運用を構築するなど、データ収集の段階から、運用フェーズを見据えたアドバイスも行っています。



設定コンサルティングサービス（作業工程イメージ）

1. RTmetrics®の設定準備作業				
	1.1	設定検討の作業用環境の構築		
			1.1.1	サイト構成の確認（ディレクトリマップ）
			1.1.2	RTmetrics®の設定検討の作業用環境の構築
	1.2	各種情報の提供		
			1.2.1	分析要件の検討（KGI）
			1.2.2	分析指標の検討（KPI）
			1.2.3	作業工程の確定
2. 分析要件定義とRTmetrics®の解析設定の策定				
	2.1	分析要件定義		
			2.1.1	ご要件の整理、分析要件・指標の精査
			2.1.2	データ取得項目、セッション判定、会員ID等各種パラメータの取得内容の検討
			2.1.3	レポート形式、ダッシュボード実装内容、フィルタ、セグメント内容の検討
			2.1.4	2.1.2に関するWeb側との実装状況確認、関係会社様との調整
			2.1.5	ご要件とRTmetrics®のレポート項目のフィット＆ギャップ
	2.2	RTmetrics®解析設定の策定		
			2.2.1	RTmetrics®の解析設定の検討
			2.2.2	RTmetrics®設定案の作成
			2.2.3	RTmetrics®設定案のレビュー（初回）
			2.2.4	RTmetrics®設定内容の確定
			2.2.5	2.2.4のRTmetrics®設定の実環境への実装
3. RTmetrics®解析データの取得状況の確認と設定のチューニング				
	3.1	RTmetrics®解析データの取得状況の確認と設定チューニング		
			3.1.1	データ取得状況の確認＆設定チューニング内容の検討
			3.1.2	RTmetrics®追加設定および設定チューニングの実施
			3.1.3	取得データのレビュー（2回目）
			3.1.4	実施した設定内容と意図、今後のメンテナンスポイント等のフィードバック
			3.1.5	（必要に応じて）設定メンテナンスのためのアドバイスサービスへの移行

RTmetricsソフトウェア保守

RTmetrics®のソフトウェア保守のサポート内容は下表のとおりです。サブスクリプションライセンスの場合は月額費用内、ソフトウェアの買取り後は年間保守費内でご提供いたします。カスタマサポートの対応時間は、平日10時～17時半となっております。

項番	サポート項目	詳細
1	アップデートサービス	✓ RTmetricsの機能改善、機能追加、不具合修正などを目的としたソフトウェアのアップデート版および関連ドキュメンテーションの提供（作業手順書等） ✓ 別途有償にてアップデート作業をお請けすることも可能です。
2	障害対応サービス	✓ ソフトウェアの不具合を回避する一時的方策の提示 ✓ ソフトウェアの不具合の補修の実施（修正パッチの開発と提供） ✓ 別途有償にて適用作業をお請けすることも可能です。
3	カスタマサポートサービス	✓ ソフトウェアの使用方法、設定方法の説明および支援（サポート窓口におけるメールベースでのQ&A対応） ✓ 製品で利用している各種定義ファイルの更新版を定期的にご提供。 ✓ バックアップツール、バックアップデータアーカイブサービスなど、保守費の範囲内の付随サービスをご提供。 ✓ 保守をご契約のお客様は、1回／年、RTmetricsの各種トレーニングを無償で受講頂けます。

保守加入により
受講料無償

RTmetricsベーシックトレーニング

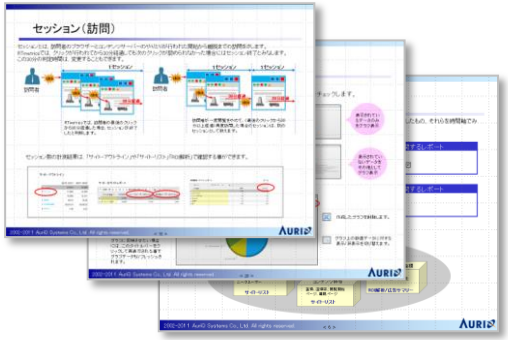
お客様のWebサイトの構成を踏まえて、RTmetricsのレポートの操作方法、分析目的に応じたレポートの使い方について、トレーニングを行います。

講義の内容

1	**RTmetricsレポート解説** ✓ レポートの特徴 ✓ 共通操作 ✓ 重要指標項目の用語説明と集計方法 ✓ アクセス傾向を見るための詳細レポート ✓ 行動分析をするための詳細レポート ✓ ダッシュボードの活用
2	**RTmetrics設定解説** ✓ 設定の概要 ✓ データの取得のための基本設定 ✓ データの精度を高めるための設定 ✓ 行動分析のための設定

ご準備頂くもの

①トレーニング会場
※お客様拠点にAURIQの講師がお伺いします。
②RTmetrics®に接続可能な端末
（講師用、受講者用）
③プロジェクタまたはモニタ



保守加入により
受講料無償

AMアドバンストレーニング

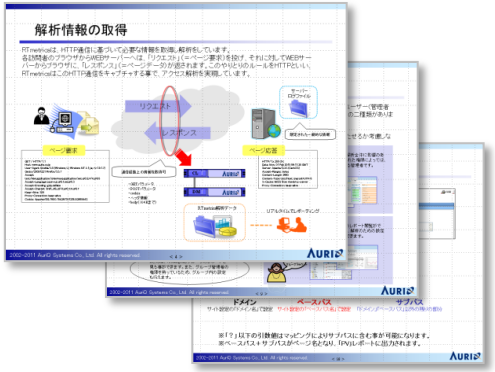
お客様のWebサイトの構成を踏まえて、RTmetricsのレポートの操作方法、分析目的に応じたレポートの使い方について、トレーニングを行います。

講義の内容

1	**Advanced Analytic Module（AM）の概要**
	レポートの特徴について AMデータ取得のための事前設定について
2	**レポート活用**
	レポート用設定機能 フィルター機能 各種レポートの開設

ご準備頂くもの

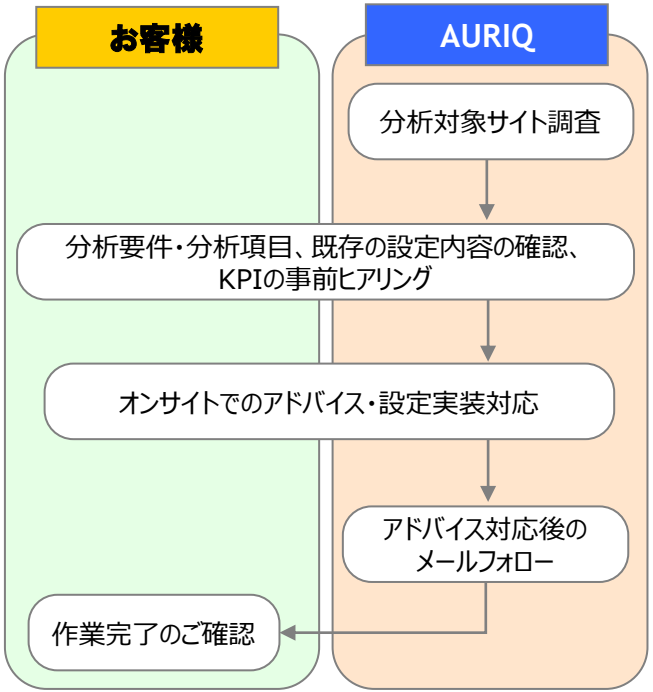
①トレーニング会場
※お客様拠点にAURIQの講師がお伺いします。
②RTmetrics®に接続可能な端末
（講師用、受講者用）
③プロジェクタまたはモニタ



アフターフォロー

設定メンテナンスサービス

トレーニング実施後、分析の運用が軌道にのるよう、目的や用途、要件にフィットした設定の実装をコンサルタントがアドバイスしながら、お客様に伴走いたします。



項番	項目
1	AURIQによる対象サイト・コンテンツの事前調査・設定にあたりお客様より事前にご提供頂く各種情報のご確認
2	分析課題の抽出・分析要件定義
3	お客様の分析要件を実現するためのRTmetrics®の各種設定案の検討
4	打ち合わせによる設定のご提案および実装（半日程度の作業量を想定）　※オンサイト
5	データチェック
6	項番1へ戻り2サイクル目へ

【ご用意頂くもの】
①担当コンサルタントが作業で使用するアカウント
②お打ち合わせ場所とRTmetrics®に接続可能な端末のご用意
③プロジェクタまたはモニタ

【提供条件】
①ミーティングによる設定実装は月間1回の想定です。
②設定に必要なQ&Aや課題抽出はメールベースで行い、実作業は①のミーティング時にオンサイト作業で行います。
③担当コンサルタント1名体制でサービスをご提供いたします。

AuriQ System Inc.
199 S. Los Robles Ave., Suite 440,
Pasadena, CA 91101
Tel: +1 (626) 564-2781

AuriQ Systems Japan Co.,Ltd.
Akasaka Yoko Building, 4th floor
4-8-6 Akasaka, Minato-ku
Tokyo 107-0052 Japan
Tel: +81-3-3560-8083

Thank you!